

## II 救 助 編



◎ 平成 26 年 4 月 1 日現在の救助活動体制

○ 消防本部数	752	本部
	(単独 456、組合 296)	
○ 救助隊設置消防本部数	730	本部
	(単独 445、組合 285)	
○ 救助隊設置市町村数	1,635	市町村
	(786 市、692 町、157 村)	
○ 救助隊数	1,435	隊
	(専任 570 隊、兼任 865 隊)	
○ 救助隊員数	24,611	人
	(専任 8,668 人、兼任 15,943 人)	

(注) 東京都特別区は、全体を 1 市として計上している。以下同じ。

◎ 平成 25 年中の救助活動状況

○ 救助出動件数	88,392	件
(うち火災によるもの 4,547 件)		
○ 救助活動件数	56,915	件
(うち火災によるもの 4,547 件)		
○ 救助人員	57,659	人
(うち火災によるもの 1,638 人)		
○ 救助出動人員		
・ 消防職員	1,232,342	人
(うち火災によるもの 147,552 人)		
・ 消防団員	99,232	人
(うち火災によるもの 69,316 人)		

(注) 火災による救助出動件数は、実際に救助活動を行った件数のみ計上している。



## 第1章 救助活動体制の現状（平成26年4月1日現在）

### 1 救助隊の範囲

昭和61年4月の消防法改正により救助隊が法的に位置付けられ、さらにこれを受けて同年10月に救助隊の編成、装備及び配置の基準を定める省令（昭和61年10月1日自治省令第22号。以下「省令」という。）が公布（昭和62年1月1日施行）されたことに伴い、同省令に基づき市町村が配置する人命の救助を行うため必要な特別の救助器具を装備した消防隊を救助隊としている。

### 2 救助隊の設置状況

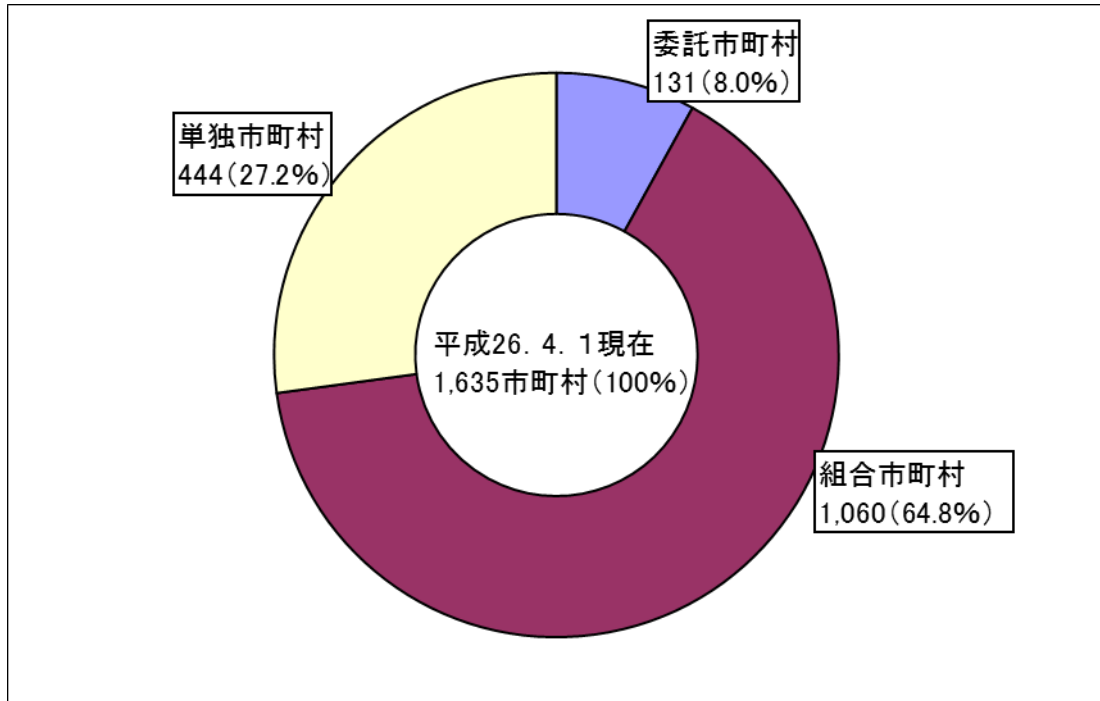
全国で救助隊を設置している消防本部は、全国752消防本部の97.1%に当たる730消防本部となっている。このうち、単独市町村の消防本部で救助隊を設置しているのは444消防本部≪395市49町≫（61.0%）、一部事務組合で救助隊を設置しているのは286消防本部≪359市562町139村≫（39.0%）となっている。また、これらの消防本部に常備消防を委託している市町村は32市81町18村である。

この結果、救助隊を設置している消防本部の管轄対象となっている市町村は、全国1,720市町村の95.1%に当たる1,635市町村（786市、692町、157村）となっている。また、これらの救助隊設置市町村の人口は127,448,291人であり、平成22年の国勢調査の確定値による全国人口128,057,352人の99.5%となっている（第1表、第2図及び別表1参照）。

第1表 救助隊の設置状況（設置消防本部及び設置市町村数）

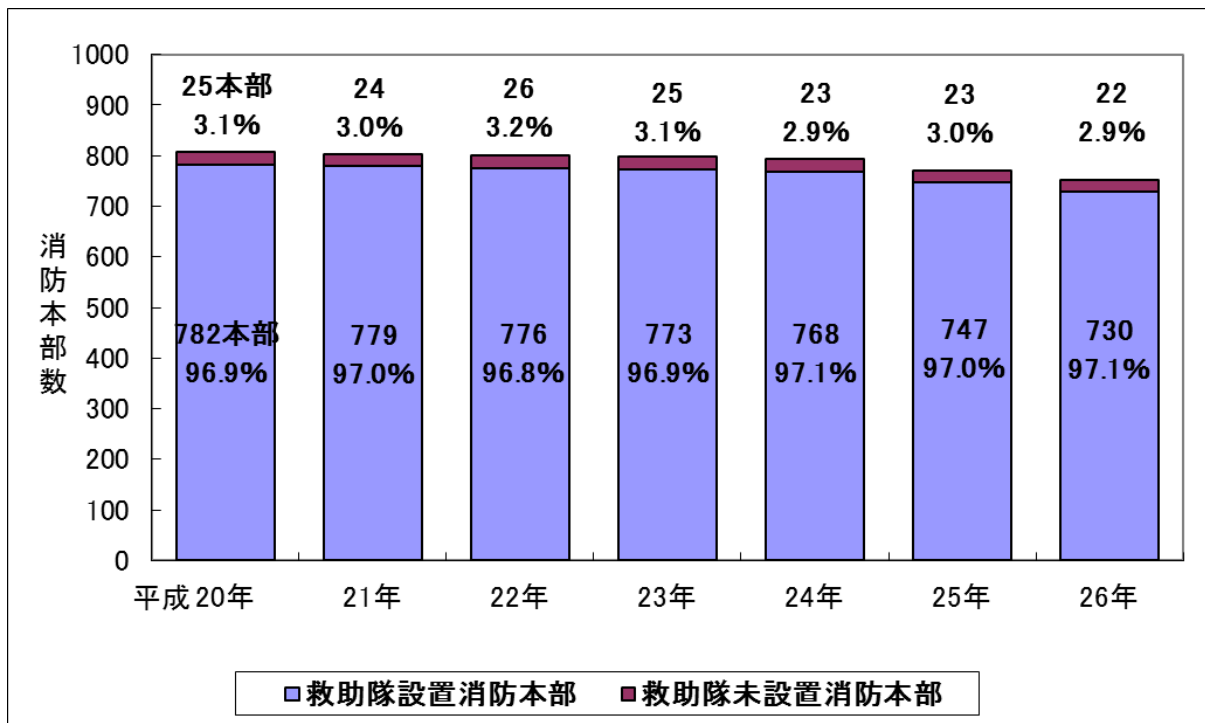
区分	全国消防本部数	設置消防本部数		全国市町村数	設置市町村数		設置市町村人口
	a	b	b/a x 100		d	d/c x 100	
平成22年4月1日	802	776	96.8%	1,728	1,658	95.9%	127,129,957
平成23年4月1日	798	773	96.9%	1,725	1,630	94.5%	127,961,189
平成24年4月1日	791	768	97.1%	1,720	1,630	94.8%	127,406,278
平成25年4月1日	770	747	97.0%	1,720	1,633	94.9%	127,384,611
平成26年4月1日	752	730	97.1%	1,720	1,635	95.1%	127,448,291

第2図 救助隊設置消防本部の管轄対象市町村の内訳



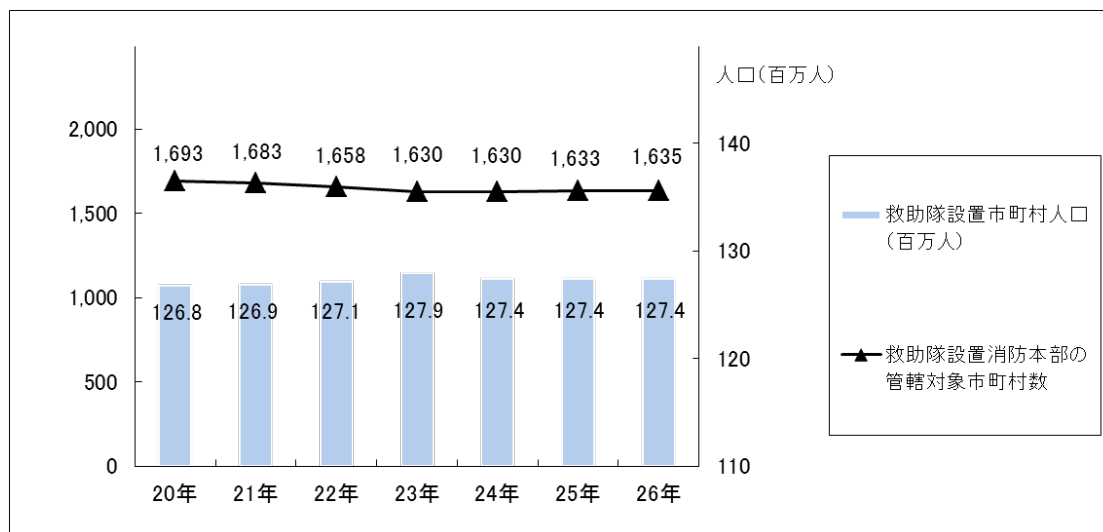
全国の救助隊設置消防本部数の推移は、第3図のとおりである。

第3図 救助隊設置消防本部数の推移



また、救助隊設置状況等の推移は、第4図のとおりである。

第4図 救助隊設置状況等の推移



(注) 1 各年とも4月1日現在の数値である。

2 人口は、平成20年、平成21年及び平成22年については平成17年国勢調査人口確定値、平成23年については平成22年国勢調査人口速報値、平成24年、平成25年及び平成26年については平成22年国勢調査人口確定値である。

人口段階別の救助隊の設置状況は第5表のとおりである。人口10万人以上の都市では、すべての消防本部で設置されている。逆に人口10万人未満の都市では、救助隊を未設置である消防本部が若干数ある。(第5表参照)

第5表 消防本部人口段階別救助隊設置率等

(平成26年4月1日現在)

区分	5万人未満	5万人以上 10万人未満	10万人以上 30万人未満	30万人以上 (大都市を除く。)	大都市	合計
消防本部数	235	213	217	66	21	752
設置消防本部数	215	211	217	66	21	730
救助隊数(隊)	242	287	430	242	234	1,435
設置率(%)	91.5%	99.1%	100.0%	100.0%	100.0%	97.1%

(注) 「大都市」とは、政令指定都市と東京都特別区(東京都が受託している市町村を含む)。以下同じ。

なお、救助隊設置本部における救助隊1隊当たりの人口等については、第6表のとおりである。人口規模に応じて、1本部当たりの部隊数は増加しているが、1部隊当たりの隊員数は、大きな変化が見られない。

第6表 消防本部人口段階別救助隊1隊当たりの人口等

(平成26年4月1日現在)

区分	5万人未満	5万人以上10万人未満	10万人以上30万人未満	30万人以上(大都市を除く。)	大都市	合計
1隊当たりの人口(人)	28,298	53,619	85,777	117,162	172,664	89,113
1本部当たりの部隊数(隊)	1.1	1.4	2.0	3.7	11.1	2.0
1部隊当たりの隊員数(人)	19.2	18.2	16.0	16.2	16.9	17.2

人口段階別の救助隊及び救助隊員の専任・兼任状況は、第7表のとおりである。救助隊数及び救助隊員数は、人口10万人以上30万人未満の消防本部が最も多く、また、専任比率は、人口規模に応じて高くなっている。

第7表 消防本部人口段階別救助隊及び救助隊員の専任・兼任状況

(平成26年4月1日現在)

区分	5万人未満	5万人以上10万人未満	10万人以上30万人未満	30万人以上(大都市を除く。)	大都市	合計
救助隊数	242	287	430	242	234	1,435
専任救助隊数	4	41	189	150	186	570
専任救助隊比率(%)	(1.7)	(14.3)	(44.0)	(62.0)	(79.5)	(39.7)
兼任救助隊数	238	246	241	92	48	865
兼任救助隊比率(%)	(98.3)	(85.7)	(56.0)	(38.0)	(20.5)	(60.3)
救助隊員数	4,644	5,210	6,879	3,913	3,965	24,611
専任救助隊員数	61	480	2,650	2,232	3,245	8,668
専任救助隊員比率(%)	(1.3)	(9.2)	(38.5)	(57.0)	(81.8)	(35.2)
兼任救助隊員数	4,583	4,730	4,229	1,681	720	15,943
兼任救助隊員比率(%)	(98.7)	(90.8)	(61.5)	(43.0)	(18.2)	(64.8)

(注) 1 ( )内は、構成比である。単位未満四捨五入している。

2 「専任救助隊」とは、兼任救助隊以外の救助隊をいう。

3 「兼任救助隊」とは、覚知した災害の種別に応じて、救助隊としての運用を休止し、救助隊以外の隊として出動することのある救助隊をいう。

4 「専任救助隊員」とは、救助隊としての辞令交付又は職務命令を受け、専ら救助活動に従事している救助隊員をいう。

5 「兼任救助隊員」とは、救助隊としての辞令交付又は職務命令を受けているが、日常的に救助隊員以外の隊員として出動し、救助活動以外の活動に従事することのある救助隊員をいう。



### 3 救助隊及び救助隊員

省令の規定に基づき消防常備市町村に設置される救助隊は、全国に1,435隊設置されており、このうち、570隊が専任救助隊である。また、救助隊員数は2万4,611人で、このうち専任救助隊員は8,668人となっている。(第8表及び別表2参照)。なお、人口10万人以上の消防常備市町村には、省令の規定に基づき、特別救助隊が設置され、中核市等の消防常備市町村には、特別救助隊のうち1以上の高度救助隊が、また東京消防庁及び政令指定都市には、高度救助隊のうち1以上の特別高度救助隊が、それぞれ設置されている。

第8表 救助隊数及び救助隊員数

(平成26年4月1日現在)

区 分	救 助 隊 数			救 助 隊 員 数		
	隊 数	隊 員 数		隊 員 数	隊 員 数	
		専 任	兼 任		専 任	兼 任
省令第3条の規定による救助隊	1,435	570	865	24,611	8,668	15,943
省令第4条の規定による救助隊	621	462	159	10,305	7,317	2,988
省令第5条の規定による救助隊	112	105	7	2,116	1,888	228
省令第6条の規定による救助隊	23	22	1	564	548	16

## 第2章 救助活動の状況（平成25年中）

### 1 救助活動の範囲

調査に当たって対象とした救助活動は、次のいずれにも該当する火災、災害又は事故により発生したものである。

- ① 要救助者の存在が予想され、しかも、その生命又は身体に現実の危険が及んでいるものであること。
- ② 緊急に被害者を人力、機械力、器具等を用いて安全な場所に救出する必要があるものであること。
- ③ 消防機関が行ったものであること（救助隊未設置の消防機関が行ったものも含む）。ただし、この調査では直接人命救助を伴わない警戒活動・危険物排除活動等及び死体捜索は調査対象から除外している。

（注） 「火災」の場合における「救助出動件数」は、出動件数そのものではなく、出動して実際に救助活動を実施した場合のみ救助出動件数として計上している。この場合、救助出動件数と救助活動件数は同数である。また、火災時に救助隊員の誘導に従って自力で脱出した者の数は「救助人員」には含めていない。

### 2 救助活動状況の概要

平成25年中における全国の救助活動の状況は、救助出動件数8万8,392件（対前年比2,086件増、2.4%増）、救助活動件数5万6,915件（対前年比812件増、1.4%増）、救助人員5万7,659人（対前年比1,679人減、2.8%減）であり、前年と比較して救助出動件数及び救助活動件数は増加しているが、救助人員件数は減少している（第9表、第10図、別表3、4、5参照）。

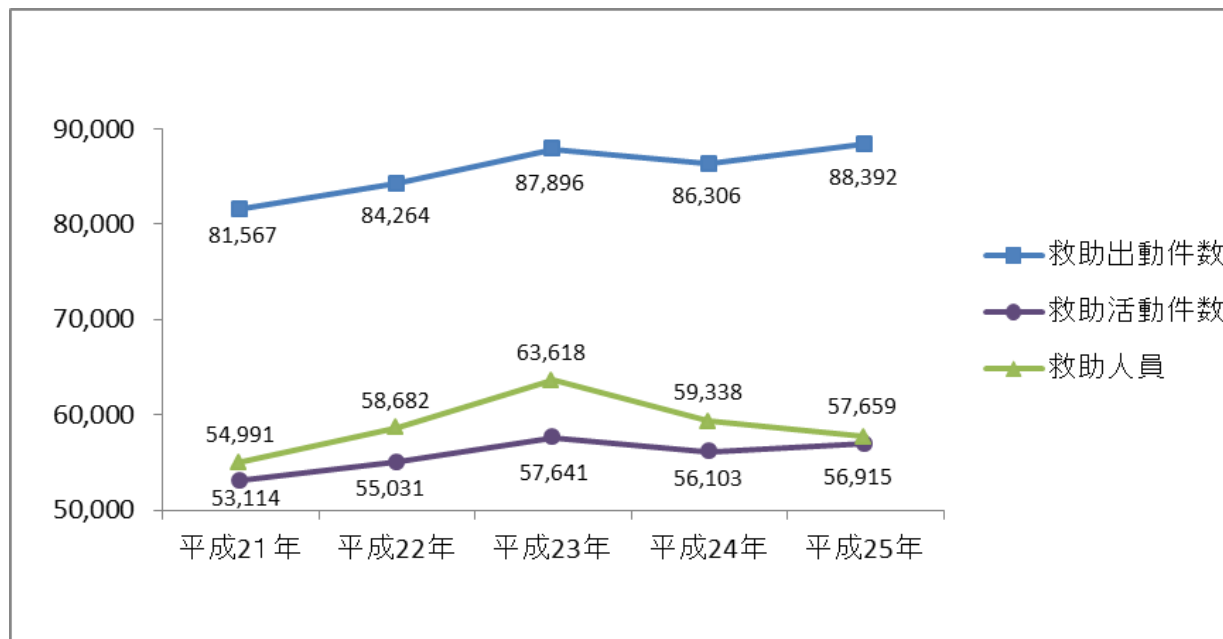
第9表 救助出動・活動件数及び救助人員の推移

年	救助出動件数		救助活動件数		救助人員	
	件数	対前年増減率(%)	件数	対前年増減率(%)	人員	対前年増減率(%)
平成21年	81,567	0.0	53,114	△ 0.3	54,991	1.4
平成22年 <sup>※1</sup>	84,264	3.3	55,031	3.6	58,682	6.7
平成23年 <sup>※2</sup>	87,896	4.3	57,641	4.7	63,618	8.4
平成24年	86,306	△ 1.8	56,103	△ 2.7	59,338	△ 6.7
平成25年	88,392	2.4	56,915	1.4	57,659	△ 2.8

※1 東日本大震災の影響により、釜石大槌地区行政事務組合消防本部のデータを除いた数値で集計している。

※2 東日本大震災の影響により、1月1日から3月10日までの釜石大槌地区行政事務組合消防本部及び陸前高田市消防本部のデータを除いた数値で集計している。また、東日本大震災において、緊急消防援助隊及び県内応援隊が実施した救助活動の一部のデータが含まれていない。

第10図 救助出動・活動件数及び救助人員の推移



### 3 平成25年中の特徴的な救助事案

近年、伊豆大島における土砂災害や埼玉県で発生した竜巻など、甚大な被害をもたらした自然災害に見られるように、災害は大規模化、困難化している。また、増加する傾向にある山岳救助や水難救助、高速道路における大型バスの交通事故など多様化している。多数の救助人員や長時間の救助活動など、平成25年中の特徴的な救助事案は別表6のとおりである。

### 4 事故種別ごとの救助活動状況

事故種別ごとに救助活動の状況を見ると、救助出動件数では、「火災」等の種別が4,547件（対前年比250件減、5.2%減）と減少する一方で、「建物等による事故」が2万8,855件（対前年比1,219件増、4.4%増）と増加している。なお、「建物等による事故」は全体の32.6%を占めており、昭和55年以降、第1位の「交通事故」を抜き、第1位の種別となっている。次いで「交通事故」2万8,147件（31.8%）、「火災」4,547件（5.1%）の順となっている。

また、救助活動件数では「交通事故」等の種別で減少する一方で、「建物等による事故」が2万2,220件（対前年比837件増、3.9%増）と増加し、全体の39.0%を占

めており、平成20年以降、第1位の種別となっている。次いで「交通事故」1万5,828件(27.8%)、「火災」4,547件(8.0%)、「水難事故」2,670件(4.7%)、「機械による事故」959件(1.7%)の順となっている。

救助人員では、「交通事故」等の種別で減少する一方で、「建物等による事故」が増加し2万758人(対前年比796人増、4.0%増)で、全体の36.0%を占めており、昭和53年以降、第1位の「交通事故」を抜き、第1位の事故種別となっている。次いで「交通事故」2万333人(35.3%)、「水難事故」2,585人(4.5%)、「火災」1,638人(2.8%)の順になっている(第11表、第12、13、14図、別表3、4、5参照)。

第11表 事故種別救助活動状況

(平成25年中)

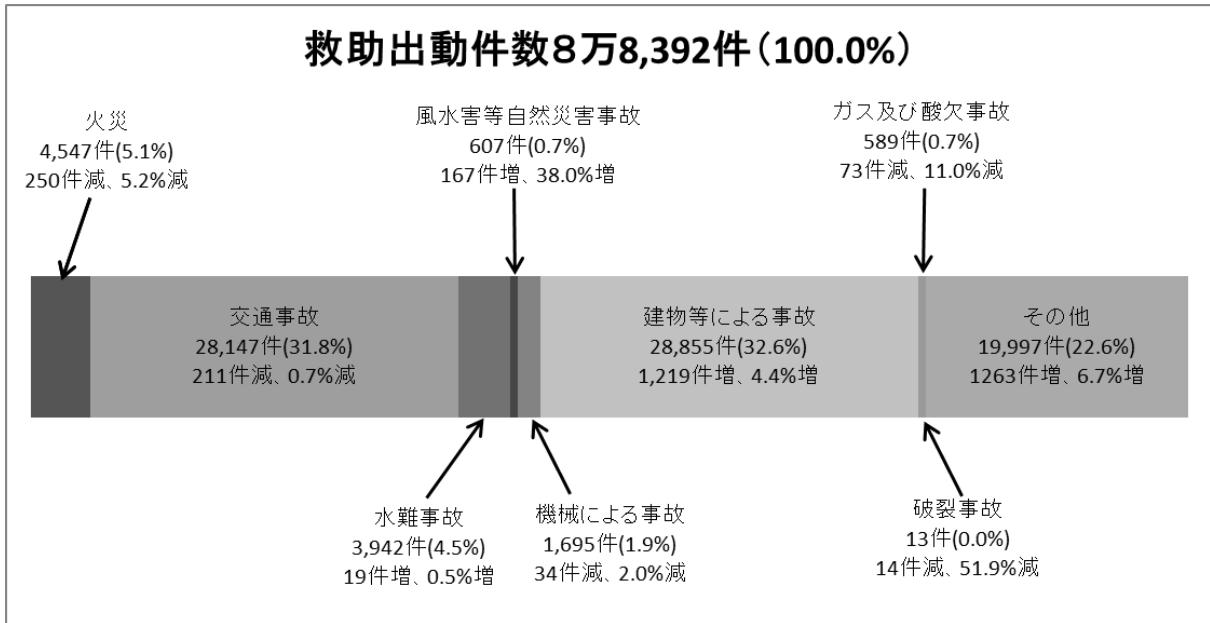
事故種別 区分	火災	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害 事故	機械に よる事故	建物等に よる事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他	合計
救助出動 件数	4,547 (5.1)	28,147 (31.8)	3,942 (4.5)	607 (0.7)	1,695 (1.9)	28,855 (32.6)	589 (0.7)	13 (0.0)	19,997 (22.6)	88,392 (100.0)
救助活動 件数	4,547 (8.0)	15,828 (27.8)	2,670 (4.7)	349 (0.6)	959 (1.7)	22,220 (39.0)	359 (0.6)	3 (0.0)	9,980 (17.5)	56,915 (100.0)
救助人員	1,638 (2.8)	20,333 (35.3)	2,585 (4.5)	1,293 (2.2)	1,183 (2.1)	20,758 (36.0)	349 (0.6)	1 (0.0)	9,519 (16.5)	57,659 (100.0)

(注) 1 ( )内は、構成比である。単位未満四捨五入のため、合計等が一致しない場合がある。

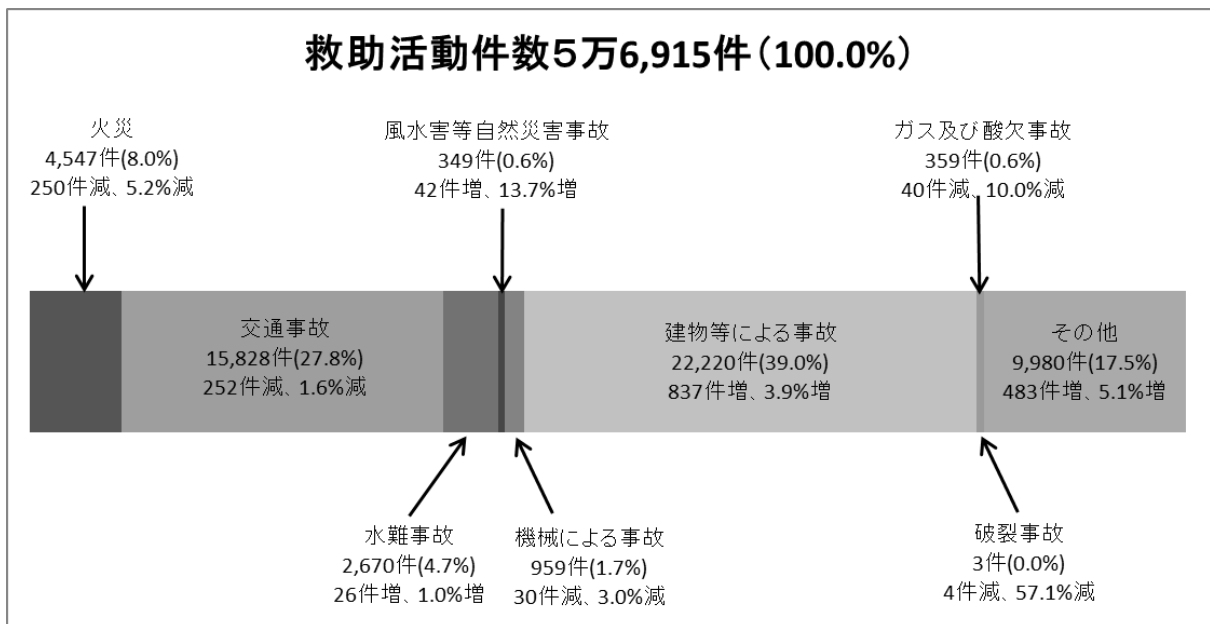
2 事故種別は、次により区分している。

- (1) 「火災」とは、火災現場において、直接火災に起因して生じた事故をいう。
- (2) 「交通事故」とは、すべての交通機関相互の衝突及び接触又は単一事故若しくは歩行者等が交通機関に接触したこと等による事故をいう。
- (3) 「水難事故」とは、水泳中の溺者又は水中転落等による事故をいう。
- (4) 「風水害等自然災害事故」とは、暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火、雪崩、地すべりその他の異常な自然現象に起因する災害事故をいう。
- (5) 「機械による事故」とは、エレベーター、プレス機械、ベルトコンベアーその他の建設機械、工作機械等による事故をいう。
- (6) 「建物等による事故」とは、建物、門、柵、へい等の建物に付帯する施設又はこれらに類する工作物の倒壊による事故、建物等内に閉じ込められる事故、建物等に挟まれる事故等をいう。
- (7) 「ガス及び酸欠事故」とは、一酸化炭素中毒その他のガス中毒事故、酸素欠乏による事故等をいう。
- (8) 「破裂事故」とは、直接火災に起因して生じた事故以外のボイラー、ボンベ等の物理的破裂による事故をいう。
- (9) 「その他」とは、前記に掲げる事故等((1)～(8))以外の事故等で、消防機関による救助を必要とした事故をいう。

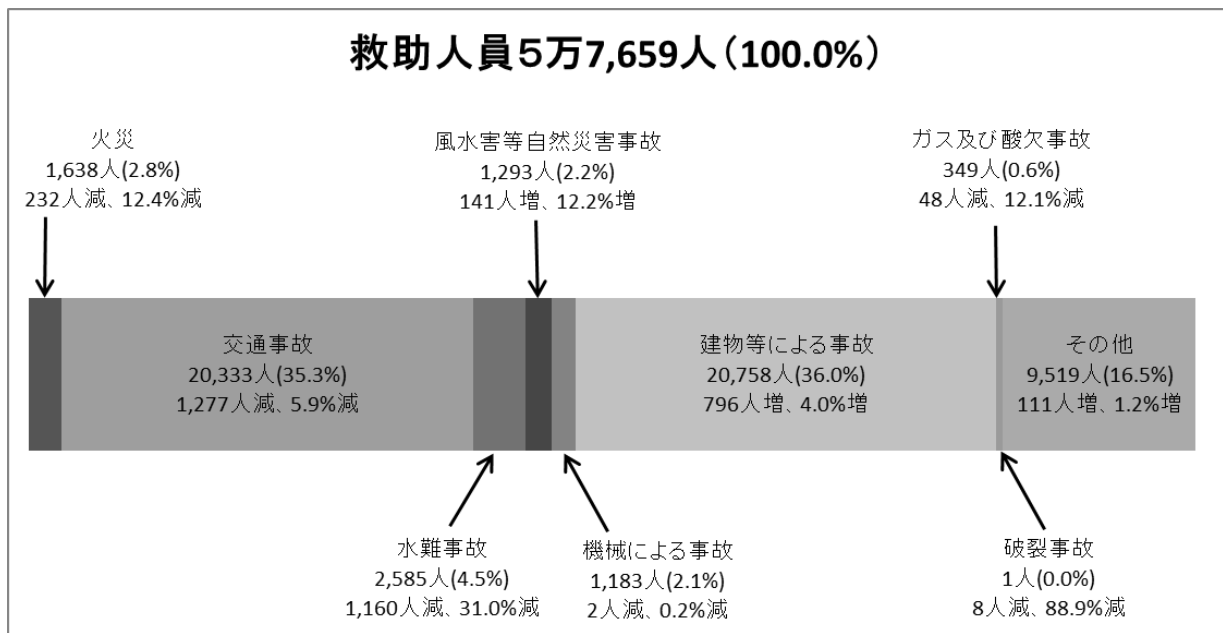
第12図 救助出動件数（救助隊等が出動した件数）



第13図 救助活動件数（救助隊等が実際に活動した件数）



第 14 図 救助人員（救助隊等が救助活動により救助した人員）



## 5 救助出動人員、救助活動人員及び救助人員

救助出動人員は、消防職員 123 万 2,342 人、消防団員 9 万 9,232 人である。このうち、火災以外の出動人員は、消防職員 108 万 4,790 人、消防団員 2 万 9,916 人である。

また、事故種別ごとの出動人員を多い順にみると、消防職員については、「交通事故」が 36 万 3,745 人、「建物等による事故」が 31 万 5,151 人で、消防団員については、「火災」が 6 万 9,316 人、風水害等自然災害事故が 5,057 人である（第 15 表、別表 7 参照）。

次に、救助活動人員は、消防職員で 53 万 321 人、消防団員 2 万 4,452 人である。

また、事故種別ごとに、救助活動 1 件当たりの救助活動人員をみると、「風水害等自然災害事故」の 27.8 人が最も多く、次に「火災」の 16.5 人となっている（第 16 表、別表 8 参照）。

同様に、救助活動 1 件当たりの救助人員をみると、「風水害等自然災害事故」の 3.7 人が最も多く、次に「機械による事故」の 1.2 人となっている。（第 16 表参照）

第 15 表 救助出動人員及び救助活動人員の状況

(平成25年中)

事故種別		火災	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害事故	機械による 事故	建物等に よる事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他	計
消防 職員	救助出動人員	147,552 (12.0)	363,745 (29.5)	78,302 (6.4)	9,052 (0.7)	22,205 (1.8)	315,151 (25.6)	10,239 (0.8)	259 (0.0)	285,837 (23.2)	1,232,342 (100.0)
	救助活動人員	61,629 (11.6)	157,902 (29.8)	36,498 (6.9)	5,002 (0.9)	9,729 (1.8)	170,271 (32.1)	3,845 (0.7)	20 (0.0)	85,425 (16.1)	530,321 (100.0)
消防 団員	救助出動人員	69,316 (69.9)	1,821 (1.8)	3,405 (3.4)	5,057 (5.1)	136 (0.1)	1,355 (1.4)	102 (0.1)	0 (0.0)	18,040 (18.2)	99,232 (100.0)
	救助活動人員	13,348 (54.6)	311 (1.3)	1,833 (7.5)	4,684 (19.2)	73 (0.3)	165 (0.7)	20 (0.1)	0 (0.0)	4,018 (16.4)	24,452 (100.0)

- (注) 1 ( ) 内は、構成比である。単位未満四捨五入のため、合計等が一致しない場合がある。  
 2 「救助出動人員」とは、救助活動を行うために出動したすべての人員をいう。  
 3 「救助活動人員」とは、救助出動人員のうち実際に救助活動を行った人員をいう。

第 16 表 救助活動 1 件当たりの救助活動人員（消防職員及び消防団員）及び救助人員の状況

(平成25年中 単位:人)

事故種別	火災	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害 事故	機械に よる事故	建物等に よる事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他	合計
救助 活動 人員	16.5	10.0	14.4	27.8	10.2	7.7	10.8	6.7	9.0	9.7
救 人 助 員	0.4	1.3	1.0	3.7	1.2	0.9	1.0	0.3	1.0	1.0

## 6 火災以外の事故時における出動車両等

火災以外の事故に救助活動のため出動した車両等の状況は第 17 表のとおりであり、救急自動車 9 万 1,904 台、消防ポンプ自動車(水槽付含む)8 万 6,072 台、救助工作車 6 万 9,654 台の順となっている。

また、事故種別ごとの救助活動車両等の数は、交通事故が 4 万 6,793 台で最も多く、建物等による事故 4 万 5,527 台、水難事故 1 万 1,409 台の順となっている(第 17 表参照)。

さらに、車両別の救出者搬送人員の状況は、第 18 表のとおりである。

第17表 火災以外の事故時における救助出動車両及び救助活動車両等の状況

(平成25年中 単位:台等)

車両等 区分	事故種別								
	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害 事故	機械に よる事故	建物等に よる事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他	合計
救助工作車	25,494	5,151	456	1,798	16,787	645	14	19,309	69,654
	9,346	2,558	195	789	6,886	298	3	6,565	26,640
消防ポンプ自動車 (水槽付含む)	27,207	5,735	559	1,591	25,678	866	27	24,409	86,072
	13,153	2,842	263	710	16,039	320	2	6,564	39,893
はしご車・ 屈折はしご車	496	177	14	30	536	16	0	2,029	3,298
	208	72	6	12	186	6	0	183	673
化学車	3,555	564	48	188	3,077	117	3	2,227	9,779
	1,727	283	23	86	2,103	59	0	634	4,915
指揮車 司令車	12,408	3,113	334	1,024	10,542	434	10	11,454	39,319
	4,538	1,465	146	423	4,091	157	1	3,198	14,019
救急自動車	37,435	4,234	401	1,735	28,359	645	16	19,079	91,904
	16,623	1,863	130	746	15,938	246	0	6,558	42,104
船舶	9	790	11	0	0	0	0	70	880
	2	277	7	0	0	0	0	11	297
ヘリコプター	123	196	19	9	1	2	0	424	774
	49	87	16	3	0	0	0	232	387
その他	3,143	3,805	378	210	773	208	6	4,725	13,248
	1,096	1,775	282	85	279	59	0	1,550	5,126
消防団車両	292	465	284	17	105	9	0	2,326	3,498
	51	187	241	12	5	3	0	407	906
計	110,162	24,230	2,504	6,602	85,858	2,942	76	86,052	318,426
	46,793	11,409	1,309	2,866	45,527	1,148	6	25,902	134,960

(注) 各欄の上段は出動車両等(救助出動したすべての車両等)、下段は活動車両等(出動車両等のうち実際に救助活動を行った車両等)を示す。



第 18 表 事故種別車両別救出者搬送人員

(平成25年中 単位:人)

事故種別 区分	火災	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害 事故	機械に よる事故	建物等に よる事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他	合計
救 急	880	18,475	1,339	131	760	17,209	180	0	5,959	44,933
ヘリコプター	3	160	16	60	25	1	0	0	242	507
消防機関その 他の車両等	3	78	16	80	2	2	0	0	43	224
消防機関以 外の車両等	64	255	124	145	46	28	3	0	372	1,037
計	950	18,968	1,495	416	833	17,240	183	0	6,616	46,701

### 第3章 救助器具等の保有状況（平成26年4月1日現在）

#### 1 救助活動のための車両

人口段階別の救助活動に使用している車両の状況は、第19表のとおりであり、最も多いのは救助工作車の1,246台で、次いで、はしご車460台、水槽付消防ポンプ車420台、消防ポンプ車309台となっている。（別表9参照）

第19表 消防本部人口段階別救助隊が搭乗する車両状況

（平成26年4月1日現在）

区分	5万人未満	5万人以上 10万人未満	10万人以上 30万人未満	30万人以上 (大都市を除く。)	大都市	合計
救助工作車	198 (15.9)	254 (20.4)	361 (29.0)	216 (17.3)	217 (17.4)	1,246 (100)
はしご車	39 (8.5)	104 (22.6)	189 (41.1)	81 (17.6)	47 (10.2)	460 (100)
屈折はしご車	9 (12.9)	18 (25.7)	27 (38.6)	10 (14.3)	6 (8.6)	70 (100)
消防ポンプ車	81 (26.2)	79 (25.6)	68 (22.0)	35 (11.3)	46 (14.9)	309 (100)
水槽付消防 ポンプ車	91 (21.7)	101 (24.0)	110 (26.2)	49 (11.7)	69 (16.4)	420 (100)
化学車	22 (17.3)	38 (29.9)	40 (31.5)	14 (11.0)	13 (10.2)	127 (100)
その他	97 (26.1)	61 (16.4)	112 (30.1)	43 (11.6)	59 (15.9)	372 (100)
合計	537 (17.9)	655 (21.8)	907 (30.2)	448 (14.9)	457 (15.2)	3,004 (100)

(注) 1 使用車両のうち「その他」とは、大型ブロアー装置搭載車、ウォーターカッター装置搭載車、クレーン車、排煙車、電源車等の車両である。

2 ( ) 内は、構成比である。単位未満四捨五入のため、合計等が一致しない場合がある。

#### 2 救助活動のための救助器具等

人口段階別の主な救助器具等の種類、保有状況は、第20表のとおりである。（別表10、11、12、13参照）。

第 20 表 消防本部人口段階別救助活動のための主な救助器具の保有状況

(平成26年4月1日現在)

区分		5万人未満	5万人以上 10万人未満	10万人以上 30万人未満	30万人以上 (大都市を除く。)	大都市	合計
省令 別表第1	三連はしご	894	1,313	2,029	1,159	1,477	6,872
	救命索発射銃	361	468	598	318	281	2,026
	油圧スプレッダー	396	442	631	308	314	2,091
	油圧切断機	379	429	567	267	704	2,346
	可搬ウィンチ	677	907	1,287	645	763	4,279
	エンジンカッター	731	1,106	1,776	1,005	1,214	5,832
	チェーンソー	846	1,269	2,176	999	939	6,229
	ガス溶断器	212	304	443	230	208	1,397
	可燃性ガス測定器	547	932	1,663	1,035	1,064	5,241
	空気呼吸器	5,686	8,817	14,404	8,041	10,362	47,310
	化学防護服(陽圧除く。)	2,167	4,139	7,478	3,856	3,702	21,342
	陽圧式化学防護服	363	825	1,513	1,058	1,167	4,926
	放射線防護服	1,165	15,219	2,501	684	1,092	20,661
	簡易画像探索機	76	160	285	156	219	896
省令 別表第2	マット型空気ジャッキ	465	576	794	360	445	2,640
	大型油圧スプレッダー	358	461	676	322	287	2,104
	大型油圧切断機	340	459	653	337	329	2,118
	削岩機	179	268	475	272	415	1,609
	空気鋸	306	422	604	366	265	1,963
	ロープ登降機	458	567	788	483	405	2,701
	ハンマドリル	162	300	471	292	241	1,466
	送排風機	330	465	603	356	282	2,036
	酸素呼吸器	213	430	1,127	721	922	3,413
省令 別表第3	画像探索機	26	55	209	186	140	616
	地中音響探索機	7	17	88	99	100	311
	熱画像直視装置	64	161	310	207	207	949
	夜間用暗視装置	13	25	105	97	74	314
	地震警報器	3	9	43	68	45	168
	電磁波探索装置	0	3	6	22	58	89
	水中探索装置	7	4	12	12	39	74
	二酸化炭素探索装置	2	1	2	12	34	51

## 第4章 救助隊員の教育訓練の実施状況（平成25年中）

人口段階別の消防本部における訓練内容別の実施状況は、第21表のとおりである。

また、消防職員の救助活動に関する教育訓練については、消防学校の教育訓練の基準（平成15年1月19日消防庁告示第3号）により、専科教育に救助科を設け、災害救助対策、救助器具取扱訓練等について計140時間以上の教育訓練を行うべきこととされている。

### 第21表 消防本部人口段階別救助隊員の訓練実施状況

（平成26年4月1日現在）

区分		5万人未満	5万人以上 10万人未満	10万人以上 30万人未満	30万人以上 (大都市を除く。)	大都市	合計
体力錬成訓練	実施回数	43,837	56,037	80,156	51,323	112,460	343,813
	実施延人数	215,652	37,429,800	420,494	277,929	372,200	38,716,075
	実施延時間	78,693	178,138	118,281	60,504	112,328	547,944
ロープ基本・ 応用訓練	実施回数	10,919	19,685	27,942	16,404	32,963	107,913
	実施延人数	73,852	112,873	161,924	75,544	155,934	580,127
	実施延時間	39,625	61,276	64,145	31,204	113,370	309,621
検索救助訓練	実施回数	9,712	15,425	25,991	17,557	27,366	96,051
	実施延人数	61,578	101,000	158,648	95,460	143,104	559,790
	実施延時間	31,759	49,850	68,569	41,769	67,991	259,937
各種救助器具 取扱訓練	実施回数	12,841	19,140	38,203	24,382	44,351	138,917
	実施延人数	69,946	96,942	195,378	120,202	206,182	688,650
	実施延時間	27,562	46,677	74,358	44,100	75,631	268,328
各種救助事象 想定訓練	実施回数	6,176	11,522	22,516	16,618	31,812	88,644
	実施延人数	40,657	67,677	129,356	91,631	154,701	484,022
	実施延時間	20,130	31,215	46,655	41,078	82,590	221,668
その他の訓練	実施回数	7,449	10,933	23,173	20,489	38,786	100,830
	実施延人数	42,757	61,687	136,155	102,945	201,154	544,698
	実施延時間	28,025	23,523	46,034	80,333	104,411	282,325
合計	実施回数	90,934	132,742	217,981	146,773	287,738	876,168
	実施延人数	504,442	37,869,979	1,201,955	763,711	1,233,275	41,573,362
	実施延時間	225,793	390,679	418,042	298,987	556,320	1,889,822

- (注) 1 「体力錬成訓練」とは、柔軟体操、ランニング、サーキット・トレーニング、ウェイト・トレーニング等の体力を錬成するための訓練をいう。
- 2 「ロープ基本・応用訓練」とは、結索、登はん、確保、ロープブリッジ等の基訓練及びこれを基礎としたロープによる進入、救出等の応用訓練をいう。
- 3 「検索・救助訓練」とは救助隊員の検索・救助技術の向上のため、隊員が一体となって行う連携訓練をいう。
- 4 「各種救助器具取扱訓練」とは、消防救助操法の基準（昭和53年9月14日消防庁告示第4号）第2編第1章から第18章までに規定する消防救助基本操法で第16章に規定するロープ操法以外のもの並びにこれらに類する各種器具の取扱訓練をいう。
- 5 「各種救助事象想定訓練」とは、各種基本・応用訓練を基礎として実際の救助活動を想定した総合訓練をいう。
- 6 「その他の訓練」とは、前記に掲げる1から6までの訓練以外で各地域の特性に応じて行う訓練をいう。

## 第5章 国際消防救助隊の活躍

昭和 61 年、消防庁では、海外で大規模災害が発生した場合に人道上及び国際協力推進の観点から世界のトップレベルにある我が国の消防機関の救助隊を迅速に派遣する体制を整備することとし、国際消防救助隊（International Rescue Team of Japanese Fire-Service 略号‘IRT-JF’愛称‘愛ある手’）を発足させた。

その後、外務省が中心となり、海外における大規模災害に対し、被災国政府の要請に応じ、緊急援助活動を行うため、昭和 62 年 9 月に「国際緊急援助隊の派遣に関する法律」を制定した。

国際消防救助隊は、同法に基づく国際緊急援助隊の一部を構成するものであり、平成 24 年 10 月現在、全国 77 消防本部 599 名の隊員が登録されており、派遣に即応できる体制を常時確保している。これまで 18 回にわたり、延べ 351 名が派遣されている(第 22 表参照)。

第 22 表 国際消防救助隊の派遣状況

	派遣年月日	災害名	被災地	被害状況	派遣実績、活動概要等
1	昭61. 8. 27 ～ 9. 6 (11日間)	ニオス湖 有毒ガス噴出災害	カメルーン共和国 ニオス湖周辺	死者 1,700名以上	国際消防救助隊員1名(東京消防庁) 有毒ガスの再噴出に備え、調査団に対する呼吸保護具の 指導
2	昭61. 10. 11 ～10. 20 (10日間)	エル・サルバドル 地震災害	エル・サルバドル共和国 サンサルバドル市	死者 1,226名 倒壊家屋 3万戸	国際消防救助隊員9名(東京消防庁5名、横浜市消防局3 名、消防庁1名) 倒壊ビルからの救助
3	平 2. 6. 22 ～ 7. 2 (11日間)	イラン地震災害	イランイスラム 共和国 カスピ海沿岸	死者 80,000名以上	国際消防救助隊員6名(東京消防庁5名、消防庁1名) 倒壊家屋からの救助
4	平 2. 7. 18 ～ 7. 26 (9日間)	フィリピン地震 災害	フィリピン共 和国ルソン島 北部	死者 1,600名以上	国際消防救助隊員11名(東京消防庁2名、名古屋市消防局 4名、広島市消防局4名、消防庁1名) 倒壊ビルからの救助
5	平 3. 5. 15 ～ 6. 6 (23日間)	バングラデシュ サイクロン災害	バングラデシュ 人民共和国	死者 約13万名	国際消防救助隊員38名(東京消防庁17名、大阪市消防局 11名、川崎市消防局4名、神戸市消防局4名、消防庁2名) 及びヘリコプター2機 被災民への救援物資の輸送等を実施
6	平 5. 12. 13 ～12. 20 (8日間)	マレーシア ビル倒壊被害	マレーシア クアラルンプール郊外 ウルクラン地区	死者 48名 倒壊ビル 1棟	国際消防救助隊員11名(東京消防庁6名、名古屋市消防局 2名、北九州市消防局2名、消防庁1名) 倒壊ビルからの救助
7	平 8. 10. 30 ～11. 6 (8日間)	エジプト ビル崩壊被害	エジプト・アラブ共和国 カイロ郊外 ヘリオポリス	死者 64名 崩壊ビル 1棟	国際消防救助隊員9名(東京消防庁3名、札幌市消防局2 名、大阪市消防局2名、松戸市消防局1名、消防庁1名) 崩壊ビルからの救助
8	平 9. 10. 22 ～11. 11 (21日間)	インドネシア 森林火災	インドネシア 共和国 ランブン州	焼失面積 1万8千 ha (ランブ ン州内)	国際消防救助隊員30名(東京消防庁19名、名古屋市消防 局5名、大阪市消防局3名、横浜市消防局2名、消防庁1名) 及びヘリコプター2機 火災地点の上空からの情報収集、消火活動の助言
9	平11. 1. 24 ～ 2. 4 (12日間)	コロンビア 地震災害	コロンビア共和国 アルメニア市周辺	死者 約1,171名 負傷者 約4,765名	国際消防救助隊員15名(東京消防庁8名、大阪市消防局2 名、千葉市消防局2名、船橋市消防局2名、消防庁1名) 倒壊ビルからの救助
10	平11. 8. 17 ～ 8. 24 (8日間)	トルコ地震災害	トルコ共和国 ヤロヴァ地区 周辺	死者 約15,370名 負傷者 約23,954名	国際消防救助隊員25名(東京消防庁12名、川崎市消防局4 名、神戸市消防局4名、市川市消防局2名、尼崎市消防局2 名、消防庁1名) 倒壊ビルからの救助
11	平11. 9. 21 ～ 9. 28 (8日間)	台湾地震災害	台湾中部	死者 約2,333名 負傷者 10,002名	国際消防救助隊員46名(東京消防庁18名、仙台市消防局4 名、千葉市消防局3名、京都市消防局4名及び川口市、松 戸市、新潟市、岡山市、倉敷市、佐世保市、鹿児島市消 防局から各2名、消防庁3名) 倒壊建物からの救助
12	平15. 5. 22 ～ 5. 29 (8日間)	アルジェリア 地震災害	アルジェリア 民主人民共和国 ブーメルデス県 周辺	死者2,266名 負傷者 10,000名以上	国際消防救助隊員17名(東京消防庁8名、京都市消防局、 仙台市消防局、川口市消防本部、朝霞地区一部事務組合 埼玉県南西部消防本部から各2名、消防庁1名) 倒壊建物からの救助
13	平 16. 2. 25 ～ 3. 1 (6日間)	モロッコ地震災害	モロッコ王国 アルホセイマ 周辺	死者564名以上 負傷者 約300名以上	国際消防救助隊員7名(東京消防庁4名、千葉市消防局 1名、京都市消防局1名、消防庁1名) 現地被害状況の調査、救助資機材取扱いに関する技術供 与等を実施
14	平 16. 12. 29 ～17. 1. 20(23 日間)	スマトラ沖大地震・ インド洋津波災害	タイ王国 ブーケット周辺	死者16万人以上	国際消防救助隊員46名(東京消防庁23名、大阪市消防 局15名、千葉市消防局2名、横浜市消防局1名、相模原 市消防本部1名、川越地区消防組合消防本部1名、消防 庁3名)及びヘリコプター2機 捜索救助活動、人員・物資搬送、捜索技術指導等を実施
15	平 17. 10. 9 ～17. 10. 18(1 0日間)	パキスタン・イスラ ム共和国地震災害	パキスタン・イスラム共和国 バトグラム周辺	死者 7万3,320名 負傷者 12万8,378名	国際消防救助隊員13名(東京消防庁6名、横浜市消防局 3名、船橋市消防局2名、茨城西南地方広域市町村圏事務 組合消防本部1名、消防庁1名) 倒壊建物からの救助
16	平 20. 5. 15 ～20. 5. 21(7 日間)	中国四川省における 地震災害	中華人民共和国四川省広元 市周辺	死者 6万9,130名 負傷者 37万4,031名	国際消防救助隊員17名(東京消防庁6名、川崎市消防局 3名、名古屋市消防局3名、市川市消防局2名、藤沢市消 防本部2名、消防庁1名) 建物倒壊現場からの遭難者救助
17	平21. 10. 1～ 21. 10. 8(8日 間)	インドネシア西スマ トラ州パダン沖地震 災害	インドネシア共和国パダン 市周辺	死者1,117名 負傷者約2,900名	国際消防救助隊員17名(東京消防庁6名、札幌市消防局 3名、福岡市消防局3名、さいたま市消防局2名、横須賀 市消防本部2名、消防庁1名) 建物倒壊現場での遭難者救助ほか
18	平23. 2. 23～ 23. 3. 12(18 日間)	ニュージーランド南 島地震災害	ニュージーランドクライス トチャーチ市	死者181名 負傷者約2,000名	国際消防救助隊員33名(東京消防庁16名、京都市消防局 3名、千葉市消防局3名、相模原市消防局2名、高松市消 防本部2名、新潟市消防局2名、福岡市消防局2名、消防庁 3名) 建物倒壊現場での遭難者救助ほか

# 別 表

別表1 都道府県別救助体制

都道府県	消防本部数	救助隊設置消防本部数			単 独				組 合			
		単独	組合	合計	市	町	村	合計	市	町	村	合計
北海道	63	18	32	50	16	2	0	18	15	92	15	122
青森	11	2	9	11	2	0	0	2	8	22	8	38
岩手	12	4	8	12	4	0	0	4	10	14	4	28
宮城	12	5	7	12	5	0	0	5	8	21	1	30
秋田	13	7	6	13	6	1	0	7	7	8	2	17
山形	12	7	5	12	7	0	0	7	6	15	3	24
福島	12	2	10	12	2	0	0	2	11	31	15	57
茨城	25	17	7	24	14	3	0	17	18	5	2	25
栃木	13	7	6	13	7	0	0	7	7	10	0	17
群馬	11	4	7	11	4	0	0	4	7	13	8	28
埼玉	28	16	12	28	15	1	0	16	25	20	1	46
千葉	31	23	8	31	22	1	0	23	15	14	1	30
東京	5	2	0	2	2	0	0	2	0	0	0	0
神奈川	25	25	0	25	18	7	0	25	0	0	0	0
新潟	19	14	5	19	13	1	0	14	7	3	1	11
富山	8	5	3	8	4	1	0	5	6	3	1	10
石川	11	7	4	11	5	2	0	7	6	5	0	11
福井	9	4	5	9	3	1	0	4	6	7	0	13
山梨	10	5	5	10	5	0	0	5	8	8	3	19
長野	14	2	12	14	2	0	0	2	17	20	33	70
岐阜	22	15	7	22	14	1	0	15	6	18	1	25
静岡	25	19	6	25	16	3	0	19	7	8	0	15
愛知	36	28	8	36	26	2	0	28	12	10	1	23
三重	15	10	4	14	9	1	0	10	3	6	0	9
滋賀	7	3	4	7	3	0	0	3	10	3	0	13
京都	15	11	4	15	9	2	0	11	6	6	1	13
大阪	29	23	5	28	20	3	0	23	12	3	0	15
兵庫	24	19	5	24	18	1	0	19	11	4	0	15
奈良	3	2	1	3	2	0	0	2	10	15	12	37
和歌山	17	13	4	17	7	6	0	13	2	10	0	12
鳥取	3	0	3	3	0	0	0	0	4	14	1	19
島根	9	5	4	9	5	0	0	5	3	10	1	14
岡山	14	10	4	14	10	0	0	10	5	8	0	13
広島	13	11	2	13	9	2	0	11	4	1	0	5
山口	12	8	4	12	8	0	0	8	5	5	0	10
徳島	13	5	6	11	5	0	0	5	3	9	0	12
香川	9	5	4	9	4	1	0	5	4	4	0	8
愛媛	14	10	4	14	7	3	0	10	4	6	0	10
高知	15	8	7	15	8	0	0	8	3	16	5	24
福岡	25	12	13	25	11	1	0	12	17	29	2	48
佐賀	5	1	4	5	1	0	0	1	9	9	0	18
長崎	10	8	2	10	7	1	0	8	5	0	0	5
熊本	12	1	11	12	1	0	0	1	13	22	7	42
大分	14	12	2	14	12	0	0	12	2	3	0	5
宮崎	9	7	2	9	7	0	0	7	2	6	0	8
鹿児島	20	11	9	20	10	1	0	11	9	19	2	30
沖縄	18	11	6	17	10	1	0	11	1	7	8	16
合計	752	444	286	730	395	49	0	444	359	562	139	1,060



(平成26年4月1日現在)

都道府県	委託				合計				救助隊設置 市町村人口A	全人口に対する Aの割合
	市	町	村	合計	市	町	村	合計		
北海道	0	3	0	3	31	97	15	143	5,146,028	93.5%
青森	0	0	0	0	10	22	8	40	1,373,339	100.0%
岩手	0	1	0	1	14	15	4	33	1,330,147	100.0%
宮城	0	0	0	0	13	21	1	35	2,348,165	100.0%
秋田	0	0	1	1	13	9	3	25	1,085,997	100.0%
山形	0	4	0	4	13	19	3	35	1,168,924	100.0%
福島	0	0	0	0	13	31	15	59	2,029,064	100.0%
茨城	0	1	0	1	32	9	2	43	2,951,442	99.4%
栃木	0	2	0	2	14	12	0	26	2,007,683	100.0%
群馬	1	2	0	3	12	15	8	35	2,008,068	100.0%
埼玉	0	1	0	1	40	22	1	63	7,194,556	100.0%
千葉	0	1	0	1	37	16	1	54	6,216,289	100.0%
東京	25	3	1	29	27	3	1	31	13,131,573	99.8%
神奈川	1	6	0	7	19	13	0	32	9,044,872	100.0%
新潟	0	2	3	5	20	6	4	30	2,374,450	100.0%
富山	0	0	0	0	10	4	1	15	1,093,247	100.0%
石川	0	1	0	1	11	8	0	19	1,169,788	100.0%
福井	0	0	0	0	9	8	0	17	806,314	100.0%
山梨	0	0	3	3	13	8	6	27	863,075	100.0%
長野	0	3	2	5	19	23	35	77	2,152,449	100.0%
岐阜	1	0	1	2	21	19	2	42	2,080,773	100.0%
静岡	0	1	0	1	23	12	0	35	3,765,007	100.0%
愛知	0	2	1	3	38	14	2	54	7,410,719	100.0%
三重	1	6	0	7	13	13	0	26	1,813,790	97.8%
滋賀	0	3	0	3	13	6	0	19	1,410,777	100.0%
京都	0	2	0	2	15	10	1	26	2,636,092	100.0%
大阪	1	1	1	3	33	7	1	41	8,835,446	99.7%
兵庫	0	7	0	7	29	12	0	41	5,588,133	100.0%
奈良	0	0	0	0	12	15	12	39	1,400,728	100.0%
和歌山	0	3	0	3	9	19	0	28	998,462	99.6%
鳥取	0	0	0	0	4	14	1	19	588,667	100.0%
島根	0	0	0	0	8	10	1	19	717,397	100.0%
岡山	0	2	2	4	15	10	2	27	1,945,276	100.0%
広島	1	6	0	7	14	9	0	23	2,860,750	100.0%
山口	0	1	0	1	13	6	0	19	1,451,338	100.0%
徳島	0	0	0	0	8	9	0	17	743,000	94.6%
香川	0	3	0	3	8	8	0	16	992,517	99.7%
愛媛	0	0	0	0	11	9	0	20	1,431,493	100.0%
高知	0	1	1	2	11	17	6	34	764,456	100.0%
福岡	0	0	0	0	28	30	2	60	5,071,968	100.0%
佐賀	0	1	0	1	10	10	0	20	849,788	100.0%
長崎	1	7	0	8	13	8	0	21	1,426,779	100.0%
熊本	0	1	1	2	14	23	8	45	1,817,426	100.0%
大分	0	0	1	1	14	3	1	18	1,196,529	100.0%
宮崎	0	4	0	4	9	10	0	19	1,100,157	96.9%
鹿児島	0	0	0	0	19	20	2	41	1,705,167	99.9%
沖縄	0	0	0	0	11	8	8	27	1,350,186	96.9%
合計	32	81	18	131	786	692	157	1,635	127,448,291	99.5%

別表2 都道府県別救助隊数、救助隊員数

(平成26年4月1日現在)

都道府県	省令第3条の規定								省令第4条の規定							
	救助隊数				救助隊員数				救助隊数				救助隊員数			
	基準	合計	専任	兼任	基準	合計	専任	兼任	基準	合計	専任	兼任	基準	合計	専任	兼任
北海道	93	80	23	57	1156	1591	368	1223	20	21	18	3	297	437	302	135
青森	28	27	10	17	346	410	135	275	9	7	5	2	90	111	56	55
岩手	21	16	2	14	232	362	52	310	7	4	2	2	87	87	52	35
宮城	28	27	11	16	411	409	170	239	17	16	11	5	236	261	167	94
秋田	21	20	4	16	327	542	100	442	9	9	4	5	142	234	100	134
山形	16	16	2	14	168	207	22	185	6	6	2	4	77	82	22	60
福島	30	30	3	27	413	569	42	527	11	10	3	7	160	235	42	193
茨城	56	54	18	36	812	912	274	638	21	23	16	7	370	368	245	123
栃木	18	19	9	10	253	267	118	149	12	13	8	5	155	186	110	76
群馬	25	21	14	7	336	282	171	111	10	8	8	0	149	121	106	15
埼玉	67	66	56	10	1036	982	824	158	44	42	42	0	717	679	668	11
千葉	67	58	37	21	848	982	594	388	45	44	36	8	600	744	578	166
東京	37	30	29	1	552	670	658	12	36	29	29	0	540	658	658	0
神奈川	62	62	53	9	1081	1138	974	164	48	47	47	0	914	886	871	15
新潟	40	38	16	22	653	646	227	419	14	14	13	1	211	207	192	15
富山	16	16	3	13	186	237	36	201	3	3	2	1	44	44	24	20
石川	23	19	2	17	298	326	28	298	6	5	2	3	78	81	28	53
福井	22	22	3	19	157	338	32	306	6	6	3	3	45	56	32	24
山梨	15	14	3	11	213	321	26	295	3	3	1	2	30	46	16	30
長野	46	32	5	27	520	528	62	466	10	7	5	2	123	93	62	31
岐阜	38	37	7	30	462	539	83	456	10	10	4	6	140	168	50	118
静岡	46	45	18	27	676	751	289	462	26	25	16	9	378	421	263	158
愛知	67	70	11	59	1022	1229	146	1083	37	42	9	33	586	732	116	616
三重	25	20	6	14	226	408	73	335	6	6	6	0	60	100	73	27
滋賀	25	25	9	16	169	366	98	268	10	10	8	2	80	106	82	24
京都	26	28	9	19	352	554	133	421	10	9	8	1	120	134	119	15
大阪	64	82	57	25	1089	1341	831	510	43	41	39	2	623	619	584	35
兵庫	55	56	22	34	711	844	303	541	29	26	20	6	339	355	275	80
奈良	22	20	7	13	285	340	91	249	6	6	5	1	74	84	69	15
和歌山	26	26	3	23	262	445	50	395	4	5	3	2	47	93	50	43
鳥取	14	13	1	12	193	279	27	252	4	3	1	2	71	84	27	57
島根	17	16	3	13	173	222	36	186	4	3	3	0	40	36	36	0
岡山	22	23	6	17	324	513	114	399	10	10	6	4	151	160	114	46
広島	34	35	14	21	448	481	216	265	23	22	11	11	333	309	180	129
山口	23	22	5	17	300	308	64	244	8	8	5	3	111	97	62	35
徳島	13	13	2	11	162	252	30	222	3	2	2	0	30	30	30	0
香川	16	16	5	11	145	283	48	235	5	4	3	1	25	102	38	64
愛媛	23	23	11	12	288	336	143	193	11	11	9	2	137	161	129	32
高知	19	18	0	18	293	502	0	502	2	1	0	1	30	16	0	16
福岡	44	43	25	18	609	694	367	327	26	22	20	2	321	333	306	27
佐賀	14	13	3	10	198	186	56	130	6	5	3	2	114	99	56	43
長崎	17	18	8	10	237	291	110	181	8	6	5	1	117	92	64	28
熊本	26	25	13	12	323	391	164	227	8	7	6	1	112	107	97	10
大分	19	18	5	13	254	269	86	183	7	6	3	3	86	84	43	41
宮崎	13	16	6	10	107	217	73	144	4	7	4	3	53	78	52	26
鹿児島	28	28	10	18	301	335	108	227	5	5	5	0	55	56	56	0
沖縄	23	19	1	18	324	516	16	500	2	2	1	1	30	33	15	18
合計	1,490	1,435	570	865	19,931	24,611	8,668	15,943	654	621	462	159	9,328	10,305	7,317	2,988

別表3 都道府県別事故種別救助出動件数

(平成25年中 単位:件)

事故種別 都道府県	火災	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械に よる事故	建物等に よる事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他 の事故	合計
北海道	125	1238	188	84	84	669	43	2	1208	3,641
青森	69	412	60	22	14	48	5	0	155	785
岩手	25	417	42	32	23	39	5	0	86	669
宮城	78	485	68	10	24	117	19	1	274	1,076
秋田	79	412	46	30	18	46	5	0	162	798
山形	52	307	29	10	27	30	2	0	125	582
福島	68	531	51	15	40	62	13	0	486	1,266
茨城	197	751	80	23	46	88	3	1	285	1,474
栃木	98	436	30	9	22	74	2	0	265	936
群馬	145	508	42	2	41	39	5	1	239	1,022
埼玉	748	955	172	17	58	907	29	3	992	3,881
千葉	314	1087	174	101	64	961	27	0	1150	3,878
東京	119	4845	272	12	243	16375	59	0	1286	23,211
神奈川	443	1014	231	7	65	1410	50	1	1624	4,845
新潟	28	688	127	10	37	26	3	0	303	1,222
富山	17	306	62	0	14	77	4	0	90	570
石川	30	264	45	4	9	63	3	0	147	565
福井	28	247	37	3	13	21	3	0	82	434
山梨	20	253	32	0	21	20	4	0	195	545
長野	39	530	49	3	37	38	6	0	234	936
岐阜	145	684	77	2	37	34	24	0	305	1,308
静岡	198	628	96	12	41	103	10	0	414	1,502
愛知	171	1049	157	8	80	822	22	0	1139	3,448
三重	37	460	59	10	27	84	5	0	136	818
滋賀	13	474	50	37	21	72	9	0	253	929
京都	49	396	70	48	44	748	16	0	412	1,783
大阪	363	865	258	17	86	3062	56	0	2333	7,040
兵庫	205	1226	175	15	64	1429	52	1	1637	4,804
奈良	27	287	35	5	25	135	6	2	452	974
和歌山	39	294	66	5	23	97	5	0	228	757
鳥取	26	173	26	0	6	21	1	0	78	331
島根	19	312	42	10	16	15	4	0	113	531
岡山	29	627	59	4	30	63	14	0	263	1,089
広島	17	643	105	2	35	244	9	0	385	1,440
山口	55	437	52	11	20	41	2	1	359	978
徳島	37	206	49	2	12	23	3	0	161	493
香川	20	243	47	0	19	25	5	0	81	440
愛媛	24	299	56	7	13	42	7	0	177	625
高知	7	230	35	2	12	7	1	0	66	360
福岡	153	713	163	6	49	368	25	0	501	1,978
佐賀	40	300	32	0	9	31	2	0	104	518
長崎	12	283	64	0	22	66	4	0	137	588
熊本	94	385	42	2	22	67	2	0	181	795
大分	16	351	46	0	27	54	3	0	225	722
宮崎	8	260	51	2	17	12	1	0	92	443
鹿児島	9	455	67	2	21	24	6	0	208	792
沖縄	12	181	126	4	17	56	5	0	169	570
合計	4,547	28,147	3,942	607	1,695	28,855	589	13	19,997	88,392

別表4 都道府県別事故種別救助活動件数

(平成25年中 単位:件)

事故種別 都道府県	火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械に よる事故	建物等に よる事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他 の事故	合計
北海道	125	585	133	27	56	407	32	1	611	1,977
青森	69	186	44	16	7	37	5	0	81	445
岩手	25	140	31	21	14	12	1	0	47	291
宮城	78	266	48	4	14	87	7	0	115	619
秋田	79	151	29	25	10	30	2	0	73	399
山形	52	140	22	5	12	21	1	0	85	338
福島	68	222	38	9	16	38	10	0	343	744
茨城	197	421	54	13	23	60	3	0	147	918
栃木	98	229	17	4	10	62	1	0	142	563
群馬	145	279	28	2	18	32	3	0	145	652
埼玉	748	535	121	8	37	690	15	2	422	2,578
千葉	314	570	96	52	32	692	14	0	433	2,203
東京	119	4238	202	8	136	13540	39	0	828	19,110
神奈川	443	422	161	6	45	1159	30	0	636	2,902
新潟	28	262	88	9	18	24	1	0	173	603
富山	17	150	35	0	6	31	4	0	44	287
石川	30	136	31	1	8	47	1	0	66	320
福井	28	140	28	3	8	12	2	0	39	260
山梨	20	116	21	0	9	13	4	0	108	291
長野	39	254	32	2	26	23	4	0	147	527
岐阜	145	289	51	0	21	27	8	0	156	697
静岡	198	363	62	9	23	76	5	0	269	1,005
愛知	171	617	118	3	49	633	15	0	387	1,993
三重	37	263	35	4	11	65	3	0	89	507
滋賀	13	186	31	24	7	29	4	0	93	387
京都	49	191	51	35	22	502	14	0	266	1,130
大阪	363	434	165	9	49	1706	18	0	904	3,648
兵庫	205	559	122	9	35	1162	37	0	770	2,899
奈良	27	154	25	4	14	95	3	0	226	548
和歌山	39	175	51	4	15	76	2	0	123	485
鳥取	26	95	13	0	2	16	1	0	42	195
島根	19	160	20	3	10	13	4	0	72	301
岡山	29	237	33	1	17	41	6	0	103	467
広島	17	317	74	1	18	167	6	0	182	782
山口	55	182	30	11	6	34	1	0	211	530
徳島	37	126	32	1	5	13	2	0	67	283
香川	20	133	34	0	13	21	4	0	59	284
愛媛	24	134	40	4	9	37	6	0	116	370
高知	7	119	23	0	9	5	0	0	46	209
福岡	153	432	114	4	37	255	21	0	349	1,365
佐賀	40	185	25	0	5	27	2	0	77	361
長崎	12	132	36	0	15	45	4	0	100	344
熊本	94	206	32	2	14	40	1	0	121	510
大分	16	181	30	0	11	43	2	0	138	421
宮崎	8	142	29	1	9	9	1	0	59	258
鹿児島	9	251	47	2	15	19	5	0	142	490
沖縄	12	123	88	3	13	47	5	0	128	419
合計	4,547	15,828	2,670	349	959	22,220	359	3	9,980	56,915

別表5 都道府県別事故種別救助人員

(平成25年中 単位:人)

事故種別 都道府県	火災	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械に よる事故	建物等に よる事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他 の事故	合計
北海道	126	831	153	96	83	384	49	1	554	2,277
青森	33	219	41	45	7	38	6	0	88	477
岩手	4	185	29	98	14	13	1	0	54	398
宮城	14	293	49	16	14	83	6	0	135	610
秋田	6	193	30	176	15	27	4	0	75	526
山形	9	166	36	61	12	21	1	0	87	393
福島	32	273	35	18	16	33	7	0	343	757
茨城	35	580	39	28	43	58	3	0	152	938
栃木	67	261	16	10	10	68	1	0	219	652
群馬	41	326	36	3	19	33	3	0	135	596
埼玉	120	585	89	13	52	606	10	0	368	1,843
千葉	72	643	79	104	37	616	14	0	349	1,914
東京	108	6,032	191	70	170	12,654	34	0	887	20,146
神奈川	131	431	144	7	75	1,141	28	0	594	2,551
新潟	15	297	76	5	18	23	1	0	165	600
富山	13	190	34	0	5	32	5	0	44	323
石川	15	170	33	1	10	49	1	0	64	343
福井	6	161	27	90	8	10	2	0	39	343
山梨	11	150	17	0	11	10	13	0	113	325
長野	16	337	36	16	26	21	3	0	155	610
岐阜	35	372	55	0	21	29	11	0	165	688
静岡	42	416	58	27	22	70	4	0	269	908
愛知	88	818	107	7	53	643	12	0	457	2,185
三重	20	324	30	14	11	66	3	0	97	565
滋賀	6	222	34	103	18	27	6	0	116	532
京都	83	253	66	125	23	329	7	0	266	1,152
大阪	107	474	124	8	69	1,590	13	0	602	2,987
兵庫	76	628	132	17	36	1,104	28	0	466	2,487
奈良	7	202	26	10	26	97	1	0	249	618
和歌山	18	201	53	7	22	77	3	0	123	504
鳥取	0	114	22	0	2	16	1	0	42	197
島根	3	198	20	8	10	13	4	0	75	331
岡山	13	301	32	1	17	38	10	0	97	509
広島	15	379	72	1	18	164	6	0	179	834
山口	13	211	29	83	8	40	1	0	212	597
徳島	7	175	28	1	5	12	1	0	103	332
香川	11	144	34	0	13	24	5	0	64	295
愛媛	16	162	38	4	9	37	5	0	116	387
高知	5	162	22	0	9	5	0	0	46	249
福岡	112	643	107	6	45	245	17	0	343	1,518
佐賀	9	227	24	0	4	23	3	0	70	360
長崎	20	163	34	0	16	38	6	0	101	378
熊本	30	328	42	1	17	46	1	0	149	614
大分	9	231	29	0	12	41	2	0	144	468
宮崎	1	182	34	1	9	9	0	0	58	294
鹿児島	5	335	67	2	26	17	4	0	145	601
沖縄	13	145	76	10	17	38	3	0	145	447
合計	1,638	20,333	2,585	1,293	1,183	20,758	349	1	9,519	57,659

別表6 平成25年中の特徴的な救助事案一覧

(平成25年中)

都道府県	消防本部名	発生日時	事故種別	災害概要	活動内容
大阪府	守口市門真市消防組合消防本部	2月11日 5時45分頃	火災	鉄骨造2階建共同住宅の2階から出火し、居室等約40mを焼損、隣室の住人5名が逃げ遅れたもの。	消防隊及び特別救助隊が合同で検索班3班を編成し、出火室及び隣室の人命検索を行い、隣室のベランダにいた要救助者5名(32歳男・32歳女・4歳女・3歳女・0歳男)を発見。要救助者に呼吸保護を実施しながら、抱きかかえ及び介添えて屋外に救出した。
長野県	松本広域消防局	3月23日 12時30分頃	交通事故	国道上における普通乗用車と大型バスの衝突事故により、普通乗用車の乗員2名が負傷し、運転手が車内から脱出不能となったもの。また、大型バスの乗員乗客は車外へ出られない状態(大型バス乗員乗客30名)であった。	現場到着時、普通乗用車は道路脇の側壁に正面から衝突した状態で停車しており、大型バスについては乗降口がガードレールに接触した状態で停車していた。 警戒筒先を設定するとともに、普通乗用車運転席ドアを大型油圧救助器具(スプレッダー・カッター)にて開放。左下肢の挟まれを確認したため、助手席ドア窓から隊員1名車内進入し、要救助者左下肢付近に当て木設定した後、運転席ドア側から挟まれ部分を大型油圧救助器具(スプレッダー)にて拡張。挟まれ部分解放後、運転席を後方へ倒し、運転席側後部ドアからバックボードを挿入し、車外へ救出した。更に大型バス非常口扉を開放し隊員1名車内進入、かぎ付はしごを設定し小綱にて固定後、乗員乗客30名を車外へ救出した。
大分県	日田玖珠広域消防組合消防本部	4月15日 20時45分頃	交通事故	軽乗用車(乗車人数6名)の単独事故で、センターラインを越え、道路脇の電柱を巻き込み約1メートル下の水田に転落したものの、車両は、助手席側のドア付近が電柱に巻き込んだ状態であった。	運転手及び助手席に乗り込んでいた者が、車両に挟まれていて脱出不能であり、後部座席に乗り込んでいたとみられる4名の者は、車外に投げ出されていた。 運転手は、ハンドルに大腿部を挟まれており、スプレッダーにてハンドルを起こして救出。 助手席に乗り込んでいた者は、左腕を電柱とドアの間に巻き込まれている状態で、フロントガラスを開放し、ピラーを切断、電柱とピラーをスプレッダーで開放し救出。
鹿児島県	始良市消防本部	6月4日 11時13分頃	交通事故	中型バス(乗車定員27名)が市道脇の土手に衝突した。乗車人員は、運転手を含め24名で、衝突によりバス内部に閉じ込められ自力脱出不可能であった。	到着時、中型バスが土手に衝突し前輪が土手下溝に脱輪し停車している状態。要救助者確認のため、救助隊員3名がバスの窓枠に単梯子を掛け内部進入。内部進入活動と並行し、救助車両フロントウインチ牽引にて土手からバスを引き離し活動スペースを確保。油圧救助器具及びマンパワーにてバス前方乗降口を開放。介添え及び徒手搬送にて車外救出。
広島県	廿日市市消防本部	6月25日 18時10分頃	風水害	山林が高さ約20m、幅約50mにわたり崩落し、住宅2軒が全半壊したことにより、61歳女性が流入した土砂(流木及び瓦礫等含む)に埋まったもの。	現場到着後、関係者、付近住民から聞き取りを行い、建物の内部構造、行方不明者の生活動態等を把握し、重点救助活動箇所を決定し、倒壊家屋内に進入する隊員を最小限とし人命検索を行うも、行方不明者の発見には至らず。 瓦礫の搬出及び土砂の除去作業に時間を要すると判断し、民間の建設会社に重機を要請するとともに、以後の活動の助力とするため、市役所の有資格者(応急危険度判定士)を要請する。 翌日2時13分、行方不明者の体の一部を発見し、3時03分救出を完了した。
佐賀県	杵藤地区広域市町村圏組合消防本部	8月10日 00時27分頃	交通事故	高速道路の見通しの良い直線で、大型トラック3台による多重衝突事故。	到着時、後続の大型トラック2台とも前部キャンピングが大破し、同車両2台の運転手が閉じ込められていた。先頭車両の運転手は車外の道路脇に座位でおり意識清明。2台目の要救助者はJCS100、3台目の要救助者はJCS300であり、2台目の要救助者の救出を行う。先頭車両の引き離しのため工作車を先頭車両前部にバックで停車し、工作車後方10tウインチで先頭車両の切り離しを行うが、事故車両の方が自重があり工作車が引き寄せられたため、先頭車両のエンジンをかけ自走し工作車ウインチで引き離し完了。2台目の要救助者を油圧救助器具一式とウインチで救出する。 引き続き、3台目の要救助者の救助を行う。2台目の大型トラック後輪ギアボックスに空気ジャッキを噛み浮かせ、2台目大型トラック後方を工作車後方10tウインチ+16tクレーン車、3台目大型トラック後方にタンク車2台でけん引、同時に引き離しにかかるが引き離し不可。つぎに、大型トラック専用レッカーが到着し、後方をタンク車と交代し、16tクレーン車で2台目の大型トラックを吊り上げ、工作車後方10tウインチで引き離し完了。3台目の要救助者を油圧救助器具一式とウインチで救出する。
京都府	福知山市消防本部	8月15日 19時28分頃	火災	花火大会場で屋台が爆発、多数の負傷者が発生したものの。	各部隊は待機場所から発生現場に集結を行い、消火活動と同時に負傷者を救護所へ搬送し、トリアージを開始、軽症者は大型バスにより病院搬送を行った。
長野県	岳北消防本部	8月18日 11時00分頃	交通事故	林道を走行中のマイクロバスが、約8メートル転落した(乗員乗客12名)。	現場到着時マイクロバスは、法面中腹に車体左側を下にして立木に引っ掛かった状態で横転していた。 到着後救助隊により、状況確認とトリアージを実施し、救助隊による車両転落防止のための車両固定を実施する。 7名がマイクロバスから脱出済みであり、車内に取り残された5名の要救助者を救助隊と連携し救出。 救急車、消防車両及びドクターヘリにより傷病者12名の搬送を行った。
岡山県	倉敷市消防局	9月5日 21時33分	火災	木造瓦葺き2階建て住宅1棟を全焼、類焼は1棟(ぼや)で、死者3名、負傷者5名の人的被害が発生したものの。	救助隊は要救助者の情報収集及び建物南側から消火活動を行い、火勢が弱まるのを確認後、屋内進入し要救助者の検索を実施する。 23時30分に1人目の行方不明者を出火建物北西角で発見する。他2名の検索を引き続き実施するも発見できず、建物倒壊危険が高いことから3時00分に検索活動を終了する。 行方不明者2名は、平成25年9月6日の9時57分及び10時05分にそれぞれ発見された。
滋賀県	大津市消防局	9月16日 4時35分頃	風水害	豪雨により線路の法面が崩落し、隣接するワンルームマンション1階に土砂が流入、住人1名が生き埋めになったもの。	現場到着時、室内から助けを求める声を確認、施錠されている玄関ドアのロック部分をエンジンカッターで破壊し室内へ進入すると、顔部と右腕以外が土砂に埋まっている要救助者を見、会話可能で息苦しさや足部の痛みを訴えていた。 スコップと徒手により要救助者周囲の土砂排除を実施するが、屋外の土砂が室内へ流入するため要救助者の周囲を杭とコンパネで区画し土砂の流入を軽減、土砂排除を継続する。また、JRが要請した重機(油圧ショベル)に協力依頼し、指揮隊の指示の下、室内の活動隊と連携をしながら屋外の土砂排除と室内への土砂流入阻止を図った。さらに、現場本部から派遣要請を受けた医師により輸液処置など容態の安定化が施された。 増強隊が現場到着後、レスキューサポートにて土砂流入阻止の杭とコンパネ部分を支える補強措置を実施。さらに、土砂を吸い取るバキュームダンパーが到着し、土砂排除を行った。 継続して、土砂排出と土砂内のアルミサッシ、パイプバット等を除去することにより、要救助者の足部を確認、足部を解放してバックボードに固定し、救助隊が病院搬送した。
福井県	敦賀美方消防組合消防本部	9月16日 5時40分頃	風水害	自宅北側の裏山が土砂崩れにより崩落し、倒壊した家屋2棟に2名が逃げ遅れたもの。	東側住宅2階に逃げ遅れ者があり、西側住宅の1名が行方不明になっているとの情報を得る。東側住宅の要救助者の救出を最優先とし隊員1名が倒壊家屋に進入、外傷等がなく自力歩行が可能を確認、三連梯子で介添え救出する。次に西側住宅の行方不明者の捜索に移行する。倒壊家屋には多量の土砂が堆積しているため、関係者の供述をもとに要救助者のいる可能性の高い箇所を捜索する。 県警機動隊と協議し、安全管理員1名を付近旅館屋上に配置、家屋内の要救助者がいると予想される箇所を中心に掘削する。12時30分要救助者を見発見するも体が土砂に埋もれていたため、少しづつ土砂を掘り進め16時24分救出完了する。

長野県	飯田広域消防本部	9月16日 10時23分頃	風水害	台風による大雨のため、工場裏手を流れる河川が一気に増水し、溢れた濁流が工場前の幅約5メートルの村道に流れ込み、更に工場内部へも濁流が流れ込んだため、工場及び施設全体が濁流に囲まれて工場内で作業を行っていた従業員15名が工場内に取り残されたもの。	現場全体を見渡せる安全な場所に現場指揮本部を設置、状況確認及び取り残された従業員の人数の把握等の情報収集に努めるとともに、出動隊を集結させ、2次災害の防止及び安全管理の徹底を図る。上流側、下流側の双方に安全監視員を配備したうえで活動を開始。 著しく水位が上昇している状況から、時間的余裕がないと判断したうえで三連梯子全伸長にて水平に渡しての救助方法を選択、隊員3名が三連梯子を渡って工場内のH鋼に支点をとり、現場指揮本部側の民家の構造物の支点を使用し、ロープを水平に展張する。要救助者にヘルメット、救命胴衣、安全帯を装着し、展張したロープに命綱をとらせて1名ずつ梯子を渡らせる救出方法で15名全員を救出した。
東京都	大島町消防本部	10月16日 2時43分頃	風水害	台風の大雨による土砂災害が発生し、広範囲に及び住宅地が土砂により、押し流されたもの。	被災地が離島であったことから、緊急消防援助隊等の出動にあたり、航空自衛隊の輸送機(C-1及びC-130H)により、迅速に隊員、車両及び資機材が投入され、自衛隊や警察などの実動機関から延べ2万人を超える隊員が派遣、活動エリアを分担するなど消防と連携し、行方不明者の捜索、救出活動等を実施した。
広島県	廿日市市消防本部	10月16日 3時23分頃	交通事故	高速道路上の大型貨物自動車2台、普通貨物自動車1台が関係する交通事故により、大型貨物自動車の男性運転手1名が車両内に閉じ込められたもの。	現場到着時、事故車両3台からは発煙、危険物の漏洩等を認められず、3台のうち2台の乗員は車外に脱出しているのを確認した。1台の大型貨物車両のキャビン部分が大破し、男性1名の閉じ込めを確認する。 二次災害防止のため先着していた高速警察隊に交通規制を依頼するとともに、警戒筒先を設定する。 車両積載の照明装置により現場照射を行い、隊員1名を事故車両内に投入する。要救助者の容態、挟まれ箇所等を確認後、車両の拡張作業に入る。 要救助者の意識レベルは比較的良好であるも、両足に車両部品が複雑に絡まりつき、油圧器具、車両ウィンチ等を活用した活動はいずれも困難を極めたため、救出作業に時間を要すると判断し、現場に医師の派遣を要請する。医師到着後は点滴及び投薬(麻酔)を実施し、車載工具、エアソー等を駆使しながら救出作業を続行させ、現場到着から5時間39分経過後、救出を完了した。
大分県	日田玖珠広域消防組合消防本部	10月29日 22時50分頃	機械	工場内のチップ乾燥設備の試運転中、排出ホッパー下のスクリーコンベアーのローラーに左下肢を挟まれたもの。	排出ホッパー部にカギ付き梯子を設置し、上部支点を作成してサバイバースリングにて傷病者の体を支え、状態の安定を図り、救急隊により5分間隔にてバイタル測定を実施するとともに、応援隊及びDMATの要請を行う。DMAT到着後、医師による点滴処置の補助を行い、現場関係者にてガス溶断器及びグラインダーにてスクリーコンベアーのローラー外枠を切断しつつ、スプレッター及びチェーンブロックを使用しローラー外枠を取り外し左下肢を開放、サバイバースリングにて排出ホッパー上部に引き上げ救出した。
青森県	青森地域広域消防事務組合消防本部	10月31日 16時01分頃	火災	4階建共同住宅の1階から出火(焼損面積58.2㎡)し、屋内階段が煙で充満、上階の住民が逃げ遅れたもの。	現場到着時、1階窓から炎が噴出、上階へ至る屋内階段も煙で充満。上階ベランダの2階で女性2名、3階で男性2名、4階で女性1名が、手を振って助けを求めている。 救助隊員、消防隊員が協力して、2階ベランダ1名及び3階ベランダ2名の要救助者を三連梯子にて、かかえ救助により救出。さらに1階正面玄関から屋内階段を使用し、各居室に屋内進入、2階から1名及び4階から1名の要救助者を屋内階段を使用し介添えて救助した。 救出後、煙を吸った2階の女性2名を救急車で病院へ搬送、他の要救助者には救急搬送を拒否した。
秋田県	由利本荘市消防本部	11月21日 15時10分頃	その他	市道の災害防除工事(復旧工事)現場で土砂崩れが発生し、作業員7人(男性6人、女性1人)が巻き込まれたもの(死亡者5人、負傷者1人、負傷なし1人)。 バックホー2台作業員8人での作業で、発生時は休憩中の1人は現場から離れていた。 土砂崩落の規模:幅約40m × 法高40m 土砂の量約5,000立方メートル	【11月21日】 現場到着(15:53)後、スコップ等手掘りて捜索開始し、17時45分、65歳男性を救出。20時05分、二次災害の危険性が高く、捜索活動を中断し、21時00分、土のうで川の流れを変え、危険を排除した後、男性1人が発見された付近を重点的に捜索再開するが、発見できず、捜索活動すべて中断。 【11月22日】 65歳男性が発見された付近を捜索重点箇所とし、約10m上部に大型土のう70袋を設置し活動の安全を図り、立木伐採、バックホーによる排水、土のう積み、捜索を開始。バックホーでの大型土のう設置は建設業者が継続して実施。要救助者は発見に至らず。 【11月23日】 手掘りによる捜索再開。大型土のう積みと並行して行う。 家族の了解を得て、バックホーによる掘削、ゾンデ棒検索、手掘りを実施したが、迂回路に亀裂が生じたため、大型土のうの設置活動中断。 17時58分、35歳男性を救出。 【11月24日】 バックホー2台追加投入(計3台)し、11時33分、62歳女性を救出。 【11月25日】 バックホーを更に1台追加投入(計4台)し、20時55分、22歳男性を救出。 【11月26日】 0時20分、57歳男性を救出し、全活動終了となる。
長野県	伊那消防組合消防本部	11月26日 16時00分頃	その他	砂防堰堤を作っており、木製の型枠の写真を撮る前にリボンテープを設置している時に、10m程上の岩盤が落ちて下敷きになったもの。	現場到着時、木製の型枠に岩盤が落ちた状態であった。 一緒にいた作業員が傷病者を最後に見た場所を指示したので、鉄鋼をエンジンカッターで切りながら岩盤の撤去作業を開始したが、重く硬い岩盤、木製の型枠等人力では撤去が出来ず、大型重機(工事会社所有)で撤去作業を行なった。要救助者のヘルメットが確認できたので、そこを重点に撤去作業を続けた。要救助者の上に乗った約10トンの岩盤を取り除き、要救助者をバスケットストレッチャーへ収容し、活動を終了した。
兵庫県	神戸市消防局	12月2日 3時32分頃	交通事故	普通乗用車1台、4tトラック1台、軽自動車1台計3台の追突事故。 普通乗用車には、5名乗車。ドクターカー医師により運転手のCPA状態を確認。 4tトラック及び軽自動車の運転手は、軽症。	普通乗用車(5名乗車)を車止めにて車両固定を実施。助手席、後部座席の4名は、体位変換及びロングボードにて車外救出。 運転手は、両下肢が挟まれ状態であったため、スプレッター及びカッターを使用し、ループを切断。その後運転席ドアをスプレッターにて開放し、ロングボードにて後部座席より車外へ救出。
大阪府	堺市消防局	12月15日 21時40分頃	火災	3階建て(総客席660席)飲食店の1階客席からの出火、店内に充満した煙により3階ベランダに要救助者11名が取り残されたもの。	現場到着時、3階ベランダに取り残された11名の要救助者を確認する。3階ベランダの要救助者救出班と店内の人命検査班に分かれて活動を開始する。店内は各階共に濃煙状態であり店内からの救出・避難誘導は困難と判断、救助隊は3階ベランダに三連梯子を2梯架梯し進入、2梯の三連梯子それぞれで要救助者に安全帯を縛着、救助ロープで確保しつつ、かかえ救出法にて地上へ救出する。店内の人命検査班は特別高度救助隊1隊、高度救助隊1隊で各階の人命検査を実施、要救助者無しを確認する。

【備考】 1 各消防本部の報告により作成  
2 要救助者5人以上又は救助開始から完了までに5以上を要した事案のうち、主な困難救助事案を掲載

別表7 都道府県別事故種別救助出動人員

(平成25年中 単位:人)

事故種別 都道府県	火災		交通事故		水難事故		風水害等自然災害		機械による事故	
	消防職員	消防団員	消防職員	消防団員	消防職員	消防団員	消防職員	消防団員	消防職員	消防団員
北海道	5,113	1,096	15,506	129	3,963	72	1,276	32	998	5
青森	1,555	785	5,023	5	992	9	215	22	167	0
岩手	352	1,739	4,671	11	705	253	372	153	231	10
宮城	3,725	961	7,064	4	1,080	0	64	0	279	0
秋田	2,386	41	4,660	1	770	15	622	1,152	184	6
山形	1,315	1,326	3,395	0	334	172	65	2	313	0
福島	1,190	562	5,882	0	678	0	82	5	412	0
茨城	4,542	3,681	8,753	3	1,227	40	164	35	562	0
栃木	1,919	1,883	5,006	0	329	0	85	5	245	0
群馬	2,987	2,063	7,766	10	722	7	18	0	569	0
埼玉	23,389	16,417	14,025	38	4,017	14	253	0	799	0
千葉	10,822	3,557	15,937	50	3,132	56	1,064	65	895	0
東京	9,593	1,936	65,236	44	11,458	57	1,894	3,247	4,819	4
神奈川	17,629	3,522	18,247	2	6,439	235	98	0	1,141	0
新潟	930	307	10,120	10	2,456	55	176	14	487	0
富山	409	393	2,851	0	712	6	0	0	131	0
石川	1,314	1,112	3,300	818	649	116	55	29	91	33
福井	661	389	2,619	27	430	48	65	17	125	0
山梨	322	0	2,534	0	380	0	0	0	203	0
長野	822	374	5,186	0	579	0	44	0	342	0
岐阜	3,745	1,860	7,679	6	933	178	27	0	374	0
静岡	5,657	4,488	9,069	69	1,809	7	105	0	555	0
愛知	5,465	2,908	16,420	37	3,881	81	54	0	1,126	10
三重	893	451	5,746	9	899	36	110	13	327	0
滋賀	400	315	5,625	0	922	55	405	68	255	0
京都	2,713	831	4,489	248	1,863	72	530	151	430	25
大阪	13,640	1,953	12,012	0	5,487	0	325	0	1,089	0
兵庫	9,745	2,038	16,306	8	3,549	55	178	6	703	0
奈良	594	210	3,466	1	419	20	60	6	271	0
和歌山	619	541	3,312	3	880	18	32	0	191	0
鳥取	536	190	2,591	7	565	23	0	0	101	0
島根	129	0	3,094	0	541	13	98	0	146	0
岡山	962	798	6,975	0	878	0	32	0	303	0
広島	451	183	9,036	0	2,041	27	47	35	485	0
山口	1,304	681	4,782	0	646	0	166	0	223	0
徳島	710	1,000	2,165	0	662	325	24	0	104	0
香川	493	527	3,150	0	935	0	0	0	228	0
愛媛	482	401	3,266	3	789	1	59	0	119	0
高知	211	364	1,989	0	473	3	13	0	107	0
福岡	4,234	2,849	10,764	31	3,591	306	101	0	706	0
佐賀	1,162	19	4,510	0	532	0	0	0	106	0
長崎	426	245	2,944	0	804	0	0	0	247	0
熊本	1,184	3,375	4,442	10	605	133	9	0	280	0
大分	278	314	3,152	4	627	0	0	0	249	0
宮崎	242	600	3,011	211	777	840	20	0	179	41
鹿児島	183	31	4,425	12	667	24	19	0	184	0
沖縄	119	0	1,544	10	1,475	33	26	0	124	2
合計	147,552	69,316	363,745	1,821	78,302	3,405	9,052	5,057	22,205	136



(平成25年中 単位:人)

事故種別 都道府県	建物等による事故		ガス及び酸欠事故		破裂事故		その他の事故		合計	
	消防職員	消防団員	消防職員	消防団員	消防職員	消防団員	消防職員	消防団員	消防職員	消防団員
北海道	10,293	88	1,061	4	34	0	17,073	564	55,317	1,990
青森	528	0	45	0	0	0	1,789	6	10,314	827
岩手	445	0	72	0	0	0	873	62	7,721	2,228
宮城	1,797	3	352	0	13	0	5,931	223	20,305	1,191
秋田	360	0	69	0	0	0	1,821	85	10,872	1,300
山形	292	0	36	0	0	0	1,285	118	7,035	1,618
福島	431	0	108	0	0	0	3,795	10	12,578	577
茨城	932	0	55	0	46	0	2,704	95	18,985	3,854
栃木	588	0	19	0	0	0	3,196	372	11,387	2,260
群馬	463	0	50	0	11	0	2,698	24	15,284	2,104
埼玉	10,750	0	337	0	52	0	14,727	1,252	68,349	17,721
千葉	11,950	0	432	0	0	0	18,552	445	62,784	4,173
東京	173,069	72	1,439	2	0	0	23,311	70	290,819	5,432
神奈川	16,614	0	1,235	0	62	0	34,272	1,965	95,737	5,724
新潟	338	0	33	0	0	0	3,513	357	18,053	743
富山	789	0	59	0	0	0	827	32	5,778	431
石川	827	431	54	26	0	0	3,636	1,898	9,926	4,463
福井	216	0	23	0	0	0	1,076	136	5,215	617
山梨	178	0	61	0	0	0	1,741	5	5,419	5
長野	283	0	89	0	0	0	2,408	199	9,753	573
岐阜	329	0	331	33	0	0	3,778	433	17,196	2,510
静岡	1,181	0	150	0	0	0	5,674	648	24,200	5,212
愛知	11,681	4	359	0	0	0	21,287	2,088	60,273	5,128
三重	811	0	77	0	0	0	1,294	19	10,157	528
滋賀	634	23	97	0	0	0	3,041	154	11,379	615
京都	5,118	731	268	27	0	0	5,125	656	20,536	2,741
大阪	33,356	0	985	0	0	0	32,016	994	98,910	2,947
兵庫	15,728	3	857	10	18	0	26,097	1,448	73,181	3,568
奈良	1,413	0	64	0	16	0	4,591	28	10,894	265
和歌山	1,204	0	69	0	0	0	2,807	68	9,114	630
鳥取	235	0	17	0	0	0	1,040	146	5,085	366
島根	104	0	113	0	0	0	1,053	0	5,278	13
岡山	555	0	145	0	0	0	3,113	173	12,963	971
広島	3,610	0	121	0	0	0	5,661	54	21,452	299
山口	360	0	25	0	7	0	2,566	24	10,079	705
徳島	204	0	40	0	0	0	2,004	1,651	5,913	2,976
香川	206	0	46	0	0	0	708	87	5,766	614
愛媛	557	0	90	0	0	0	1,764	120	7,126	525
高知	54	0	9	0	0	0	561	20	3,417	387
福岡	3,218	0	445	0	0	0	6,121	127	29,180	3,313
佐賀	381	0	36	0	0	0	1,152	738	7,879	757
長崎	797	0	65	0	0	0	1,369	4	6,652	249
熊本	964	0	27	0	0	0	1,838	49	9,349	3,567
大分	556	0	29	0	0	0	1,955	111	6,846	429
宮崎	102	0	11	0	0	0	895	260	5,237	1,952
鹿児島	209	0	78	0	0	0	1,806	9	7,571	76
沖縄	441	0	56	0	0	0	1,293	13	5,078	58
合計	315,151	1,355	10,239	102	259	0	285,837	18,040	1,232,342	99,232

別表8 都道府県別事故種別救助活動人員

(平成25年中 単位:人)

事故種別 都道府県	火災		交通事故		水難事故		風水害等自然災害		機械による事故	
	消防職員	消防団員	消防職員	消防団員	消防職員	消防団員	消防職員	消防団員	消防職員	消防団員
北海道	1,477	170	5,225	38	2,016	60	202	2	521	0
青森	840	263	1,742	4	486	9	140	2	59	0
岩手	131	90	1,394	8	423	251	220	45	127	0
宮城	976	14	2,525	0	540	0	25	0	114	0
秋田	988	41	1,349	0	352	5	524	1,140	81	4
山形	699	516	1,345	0	214	95	31	0	131	0
福島	592	365	1,979	0	387	0	41	0	134	0
茨城	2,816	2,438	4,292	3	789	40	86	8	275	0
栃木	1,159	567	2,467	0	147	0	38	5	114	0
群馬	2,265	54	3,159	6	345	7	16	0	236	0
埼玉	8,047	0	5,896	3	2,018	12	65	0	381	0
千葉	4,475	985	5,350	8	1,058	23	359	59	333	0
東京	7,826	13	47,566	0	5,763	1	1,791	3,247	1,978	0
神奈川	6,565	1,875	4,253	2	2,265	7	37	0	397	0
新潟	262	25	2,748	0	1,186	48	72	14	193	0
富山	209	73	1,181	0	285	0	0	0	62	0
石川	277	44	1,353	111	380	47	3	0	75	26
福井	215	184	1,009	0	207	0	55	17	68	0
山梨	244	0	970	0	207	0	0	0	70	0
長野	419	1	2,177	0	323	0	34	0	213	0
岐阜	912	50	2,129	0	463	150	0	0	156	0
静岡	4,381	1,908	4,284	0	891	4	69	0	237	0
愛知	1,890	352	6,287	0	1,856	81	16	0	463	0
三重	484	13	2,522	7	408	28	42	13	114	0
滋賀	180	0	1,580	0	352	30	253	7	60	0
京都	699	204	1,731	10	794	10	355	78	226	0
大阪	3,361	273	4,194	0	1,779	0	68	0	458	0
兵庫	1,695	36	4,443	0	1,222	10	61	6	240	0
奈良	243	0	1,413	0	262	0	28	6	143	0
和歌山	280	120	1,544	3	527	5	29	0	132	0
鳥取	277	0	950	0	230	13	0	0	29	0
島根	81	0	1,296	0	175	0	26	0	78	0
岡山	172	0	1,786	0	348	0	9	0	106	0
広島	163	12	2,813	0	667	0	31	35	160	0
山口	715	110	1,730	0	334	0	155	0	70	0
徳島	385	234	1,125	0	402	184	3	0	49	0
香川	237	60	1,110	0	424	0	0	0	115	0
愛媛	305	314	1,393	3	494	1	26	0	86	0
高知	36	0	899	0	178	3	0	0	66	0
福岡	2,878	901	5,427	0	2,135	227	41	0	444	0
佐賀	728	0	2,391	0	311	0	0	0	53	0
長崎	138	0	1,191	0	375	0	0	0	133	0
熊本	623	1,001	1,992	0	410	122	6	0	179	0
大分	89	42	1,345	0	296	0	0	0	73	0
宮崎	86	0	1,424	90	361	303	5	0	89	41
鹿児島	49	0	1,964	7	415	24	16	0	124	0
沖縄	60	0	959	8	998	33	24	0	84	2
合計	61,629	13,348	157,902	311	36,498	1,833	5,002	4,684	9,729	73

(平成25年中 単位:人)

事故種別 都道府県	建物等による事故		ガス及び酸欠事故		破裂事故		その他の事故		合計	
	消防職員	消防団員	消防職員	消防団員	消防職員	消防団員	消防職員	消防団員	消防職員	消防団員
北海道	2,290	0	226	0	5	0	4,977	385	16,939	655
青森	303	0	36	0	0	0	687	6	4,293	284
岩手	82	0	14	0	0	0	443	62	2,834	456
宮城	639	0	54	0	0	0	1,028	3	5,901	17
秋田	191	0	22	0	0	0	518	81	4,025	1,271
山形	175	0	20	0	0	0	712	113	3,327	724
福島	241	0	50	0	0	0	2,448	0	5,872	365
茨城	526	0	52	0	0	0	1,168	0	10,004	2,489
栃木	393	0	13	0	0	0	1,456	74	5,787	646
群馬	216	0	20	0	0	0	1,342	24	7,599	91
埼玉	5,780	0	130	0	15	0	3,824	88	26,156	103
千葉	5,203	0	126	0	0	0	3,345	0	20,249	1,075
東京	112,285	0	775	0	0	0	11,983	0	189,967	3,261
神奈川	7,318	0	335	0	0	0	5,485	291	26,655	2,175
新潟	196	0	5	0	0	0	1,617	276	6,279	363
富山	199	0	49	0	0	0	328	13	2,313	86
石川	388	26	23	0	0	0	615	83	3,114	337
福井	86	0	7	0	0	0	291	16	1,938	217
山梨	94	0	52	0	0	0	786	0	2,423	0
長野	139	0	37	0	0	0	1,202	44	4,544	45
岐阜	139	0	53	0	0	0	1,140	12	4,992	212
静岡	665	0	87	0	0	0	2,725	73	13,339	1,985
愛知	4,499	0	151	0	0	0	3,397	10	18,559	443
三重	453	0	28	0	0	0	731	19	4,782	80
滋賀	174	0	33	0	0	0	726	0	3,358	37
京都	2,678	139	77	20	0	0	2,657	185	9,217	646
大阪	11,128	0	197	0	0	0	6,233	48	27,418	321
兵庫	6,459	0	272	0	0	0	5,257	754	19,649	806
奈良	574	0	27	0	0	0	1,619	28	4,309	34
和歌山	646	0	19	0	0	0	970	1	4,147	129
鳥取	106	0	5	0	0	0	462	0	2,059	13
島根	78	0	40	0	0	0	535	0	2,309	0
岡山	245	0	48	0	0	0	718	0	3,432	0
広島	870	0	60	0	0	0	1,159	0	5,923	47
山口	299	0	16	0	0	0	1,367	24	4,686	134
徳島	116	0	14	0	0	0	476	42	2,570	460
香川	129	0	36	0	0	0	410	87	2,461	147
愛媛	418	0	74	0	0	0	1,031	55	3,827	373
高知	23	0	0	0	0	0	333	20	1,535	23
福岡	1,884	0	355	0	0	0	3,401	124	16,565	1,252
佐賀	264	0	36	0	0	0	815	726	4,598	726
長崎	378	0	44	0	0	0	826	4	3,085	4
熊本	513	0	7	0	0	0	1,022	46	4,752	1,169
大分	268	0	18	0	0	0	869	111	2,958	153
宮崎	63	0	8	0	0	0	495	83	2,531	517
鹿児島	133	0	47	0	0	0	969	0	3,717	31
沖縄	325	0	47	0	0	0	827	7	3,324	50
合計	170,271	165	3,845	20	20	0	85,425	4,018	530,321	24,452

別表9 救助隊が搭乗する車両

(平成26年4月1日現在)

車両等 都道府県	救助 工作車	はしご車	屈折 はしご車	ポンプ車	水槽付 ポンプ車	化学車	その他	合計
北海道	57	14	3	10	28	2	8	122
青森	16	6	1	4	15	1	5	48
岩手	15	3	2	3	5	1	2	31
宮城	21	11	1	9	5	3	11	61
秋田	18	8	1	1	4	0	1	33
山形	18	5	0	0	4	2	2	31
福島	23	11	0	12	11	2	4	63
茨城	34	17	3	12	25	9	7	107
栃木	19	9	0	0	3	2	1	34
群馬	18	11	1	3	2	0	1	36
埼玉	62	29	8	4	1	2	14	120
千葉	52	29	5	5	9	3	8	111
東京	34	1	0	26	26	7	0	94
神奈川	62	27	5	11	9	1	32	147
新潟	36	26	2	2	7	5	17	95
富山	16	8	0	0	3	0	1	28
石川	13	1	0	3	1	1	7	26
福井	16	8	2	3	4	2	2	37
山梨	14	2	2	8	2	2	4	34
長野	28	10	2	7	4	1	7	59
岐阜	33	13	5	16	16	7	21	111
静岡	47	10	3	2	11	1	7	81
愛知	70	24	1	11	30	6	19	161
三重	18	10	2	5	8	5	8	56
滋賀	14	2	0	4	14	4	5	43
京都	23	7	0	11	4	5	2	52
大阪	56	13	2	20	16	1	7	115
兵庫	50	6	0	5	7	4	5	77
奈良	20	5	0	0	1	0	5	31
和歌山	24	2	1	2	7	1	7	44
鳥取	7	1	0	3	2	2	0	15
島根	14	4	1	0	1	0	4	24
岡山	23	13	1	12	5	2	10	66
広島	31	23	2	6	12	3	6	83
山口	20	11	3	13	10	3	8	68
徳島	13	3	0	5	4	4	9	38
香川	12	8	1	8	4	1	6	40
愛媛	20	10	1	14	15	6	18	84
高知	12	3	0	10	9	1	16	51
福岡	45	11	2	13	10	5	6	92
佐賀	11	7	1	0	11	2	3	35
長崎	18	6	0	9	8	3	16	60
熊本	22	6	2	8	5	5	15	63
大分	16	4	0	7	6	4	2	39
宮崎	12	4	2	0	4	2	4	28
鹿児島	24	8	1	0	10	1	5	49
沖縄	19	10	1	2	22	3	24	81
合計	1,246	460	70	309	420	127	372	3,004

別表10 救助活動のための主な救助器具の保有状況(省令別表第1)

(平成26年4月1日現在)

救助器具 都道府県	三連 はしご	救命索 発射銃	油圧 スプレッター	油圧 切断機	可搬 ウィンチ	エンジン カッター	チェーン ソー	ガス 溶断器	可燃性ガス 測定器	空気 呼吸器	簡易画像 探索機
北海道	468	118	117	129	283	438	390	66	316	2,838	22
青森	129	32	42	33	73	88	79	22	80	783	4
岩手	101	22	25	32	63	79	71	14	88	614	10
宮城	140	42	34	46	63	87	153	30	55	825	17
秋田	99	21	26	30	54	86	93	20	43	643	10
山形	93	27	21	28	41	55	55	18	68	638	9
福島	102	34	23	23	68	65	64	22	59	921	19
茨城	197	72	56	54	123	137	189	48	116	1,247	32
栃木	112	32	37	28	57	76	91	29	76	582	18
群馬	153	35	44	44	98	120	122	18	94	728	13
埼玉	450	100	94	100	243	351	309	86	314	2,431	68
千葉	307	76	111	92	193	338	400	62	284	2,317	46
東京	764	95	117	503	331	569	224	34	81	3,415	116
神奈川	223	95	77	80	259	309	389	63	390	2,078	74
新潟	213	59	78	66	103	99	121	43	115	1,262	17
富山	60	47	24	23	47	62	59	30	58	548	8
石川	71	29	17	19	45	55	67	19	45	478	8
福井	57	34	18	19	38	49	60	15	45	562	5
山梨	37	40	11	12	34	27	30	14	32	227	6
長野	122	37	52	35	82	93	119	23	88	895	16
岐阜	132	55	55	49	129	129	161	39	93	881	16
静岡	217	68	91	67	153	220	295	57	214	1,451	32
愛知	367	89	99	96	223	271	274	89	300	2,930	42
三重	129	41	43	60	114	134	104	23	112	1,149	16
滋賀	71	23	22	16	46	51	61	15	33	514	9
京都	104	22	31	32	65	82	79	24	97	846	20
大阪	321	67	73	82	146	290	170	65	376	2,677	34
兵庫	225	59	87	62	135	194	208	54	227	1,866	34
奈良	65	19	26	25	47	65	74	22	47	434	13
和歌山	83	38	36	25	64	64	92	19	76	539	10
鳥取	40	12	13	16	26	28	29	12	34	216	1
島根	55	20	34	21	36	39	48	14	49	362	4
岡山	67	27	34	19	42	55	48	23	72	720	16
広島	89	42	45	34	78	122	218	29	103	1,103	18
山口	95	28	35	29	58	75	109	20	120	686	17
徳島	38	21	17	22	39	43	64	15	42	302	9
香川	64	21	20	8	43	45	99	13	53	457	3
愛媛	91	27	50	38	64	60	142	26	93	677	14
高知	53	44	22	19	51	51	50	11	25	385	6
福岡	154	38	47	46	99	182	193	34	184	1,446	16
佐賀	46	19	15	28	31	34	46	8	38	340	3
長崎	81	28	49	42	52	87	100	17	112	550	11
熊本	64	28	28	23	35	51	106	20	74	608	15
大分	76	33	17	11	40	42	86	13	58	572	8
宮崎	50	28	19	16	27	39	58	11	48	387	3
鹿児島	99	59	26	31	80	83	130	26	62	635	6
沖縄	98	23	33	33	58	113	100	22	52	545	2
合計	6,872	2,026	2,091	2,346	4,279	5,832	6,229	1,397	5,241	47,310	896

別表11 救助活動のための主な救助器具の保有状況

【省令別表第1(地域の実情に応じ備えるもの)】

(平成26年4月1日現在)

救助器具 都道府県	耐熱服	放射線 防護服	潜水器具	救助用 簡易起重機	有毒ガス 測定器	化学防護服 (陽圧除く)	陽圧式化 学防護服	除染 シャワー	除染剤 散布器	酸素濃度 測定器
北海道	388	129	133	5	196	734	171	18	33	223
青森	97	48	227	4	54	147	50	3	2	54
岩手	68	50	28	5	51	173	53	8	14	56
宮城	103	83	76	9	93	184	141	12	24	31
秋田	63	43	100	2	38	249	79	5	7	39
山形	75	11	12	4	39	230	30	4	4	43
福島	84	12,463	60	1	65	415	83	15	13	49
茨城	140	391	172	4	70	352	136	16	16	68
栃木	75	51	124	4	67	624	86	15	25	64
群馬	100	35	35	4	52	346	72	8	10	58
埼玉	255	205	212	15	340	816	302	50	89	301
千葉	233	129	201	19	228	834	326	43	59	171
東京	315	230	96	4	330	2,298	133	24	26	368
神奈川	163	402	269	13	161	938	396	47	62	297
新潟	112	75	105	11	72	224	78	11	18	87
富山	56	39	70	9	27	33	46	4	5	46
石川	95	35	100	1	30	161	88	7	10	35
福井	47	121	63	4	31	50	67	7	7	25
山梨	17	5	9	0	41	588	63	5	2	24
長野	117	29	26	5	69	135	59	9	6	64
岐阜	81	38	165	13	82	449	66	7	14	78
静岡	143	224	227	10	130	566	178	19	24	140
愛知	412	167	341	16	236	1,248	256	32	49	276
三重	66	23	124	9	63	1,561	52	7	8	83
滋賀	33	44	66	0	44	472	59	6	10	33
京都	75	87	92	2	42	263	128	10	18	77
大阪	270	1,720	196	3	162	756	360	34	42	223
兵庫	169	150	228	9	185	1,548	237	24	34	173
奈良	47	28	89	6	67	177	74	7	10	41
和歌山	65	40	116	0	54	54	43	5	6	67
鳥取	29	21	21	0	10	87	29	5	6	16
島根	41	12	5	1	37	222	44	6	3	42
岡山	65	45	36	0	77	250	99	10	10	61
広島	106	48	272	3	72	237	105	14	18	60
山口	63	40	104	1	42	139	100	9	16	79
徳島	36	10	82	0	20	1,527	20	3	8	27
香川	75	21	85	2	50	83	19	5	3	40
愛媛	64	183	64	2	90	141	78	6	16	87
高知	21	8	82	1	29	167	21	5	7	27
福岡	131	71	328	8	122	185	132	14	15	77
佐賀	34	9	65	1	31	109	31	2	4	28
長崎	78	28	19	0	77	80	55	6	8	68
熊本	54	20	151	2	46	120	67	6	7	40
大分	56	17	76	1	42	278	33	6	8	26
宮崎	35	24	28	4	19	277	55	6	4	11
鹿児島	100	2,944	146	2	78	30	62	4	4	64
沖縄	109	65	390	2	56	785	64	10	14	45
合計	5,061	20,661	5,716	221	4,017	21,342	4,926	579	798	4,092

別表12 救助活動のための主な救助器具の保有状況(省令別表第2)

(平成26年4月1日現在)

救助器具 都道府県	マット型 空気ジャッキ	大型油圧 スプレッダー	大型油圧 切断機	削岩機	空気鋸	ロープ 登降機	ハンマ ドリル	送排風機	酸素 呼吸器
北海道	209	191	172	58	108	194	57	151	142
青森	39	39	40	14	23	15	17	28	27
岩手	28	33	35	13	45	21	18	30	79
宮城	37	58	97	58	28	61	21	29	95
秋田	30	35	34	16	29	34	23	25	53
山形	33	31	28	15	23	38	17	24	38
福島	31	38	36	14	31	38	25	28	66
茨城	82	50	51	44	70	61	41	69	88
栃木	34	42	34	23	32	55	26	44	73
群馬	54	25	28	16	34	38	24	28	65
埼玉	90	88	98	83	124	156	95	114	276
千葉	140	95	86	76	91	77	75	84	207
東京	119	42	41	35	35	33	35	38	172
神奈川	194	90	87	205	87	143	77	86	296
新潟	87	67	69	36	50	141	40	56	92
富山	25	30	29	15	22	32	20	17	17
石川	33	26	23	18	24	30	15	21	27
福井	27	23	24	14	16	13	15	18	35
山梨	36	16	14	11	17	17	16	20	13
長野	66	71	72	23	43	53	25	33	48
岐阜	55	43	42	31	52	50	39	52	60
静岡	104	77	83	71	66	59	52	75	113
愛知	110	93	99	107	102	122	91	114	217
三重	50	38	33	35	39	62	32	40	49
滋賀	22	22	21	19	18	39	24	21	22
京都	35	27	35	27	37	136	31	36	35
大阪	131	128	124	100	103	92	80	102	178
兵庫	72	83	76	65	63	109	65	95	73
奈良	32	23	24	17	27	59	24	28	70
和歌山	44	30	31	22	36	53	19	32	16
鳥取	9	11	8	6	10	6	7	9	25
島根	25	11	15	13	23	31	7	14	13
岡山	36	31	36	26	31	39	32	30	46
広島	57	46	48	39	46	54	38	77	95
山口	33	36	34	21	32	48	24	28	53
徳島	26	21	17	11	18	17	19	16	10
香川	19	19	17	16	13	22	20	20	26
愛媛	45	31	34	23	33	38	30	41	58
高知	26	19	25	12	27	130	13	17	24
福岡	63	53	53	48	69	84	33	47	113
佐賀	21	15	13	10	13	7	9	13	24
長崎	34	28	31	17	37	14	16	23	26
熊本	40	34	34	26	36	76	24	28	62
大分	38	27	24	13	22	26	17	22	14
宮崎	17	17	16	11	13	17	12	25	19
鹿児島	47	35	35	21	43	51	13	32	59
沖縄	55	16	12	15	22	10	13	56	4
合計	2,640	2,104	2,118	1,609	1,963	2,701	1,466	2,036	3,413

別表13 救助活動のための主な救助器具の保有状況(省令別表第3)

(平成26年4月1日現在)

救助器具 都道府県	画像	地中音響	熱画像	夜間用	地震	電磁波	二酸化炭素	水中
	探索機	探知機	直視装置	暗視装置	警報器	探査装置	探査装置	探査装置
北海道	18	9	40	13	6	1	1	2
青森	10	3	14	7	2	0	0	0
岩手	8	5	14	5	1	0	0	0
宮城	22	7	28	9	4	1	1	4
秋田	10	3	18	3	2	0	0	0
山形	9	4	11	7	1	0	1	0
福島	11	3	14	4	3	0	0	1
茨城	21	11	19	10	10	2	1	4
栃木	17	7	19	8	4	1	0	0
群馬	14	4	10	5	4	1	1	1
埼玉	38	18	63	21	10	30	4	4
千葉	39	17	63	19	13	3	4	4
東京	4	15	34	9	3	3	3	4
神奈川	34	41	48	21	10	8	6	6
新潟	19	8	23	5	3	4	1	1
富山	3	2	9	3	1	0	0	0
石川	4	2	7	2	1	0	0	0
福井	5	3	8	2	1	0	0	0
山梨	3	0	6	0	0	0	0	0
長野	5	2	6	2	2	0	0	1
岐阜	8	3	17	4	2	1	0	0
静岡	33	16	36	19	6	3	3	2
愛知	20	10	67	12	8	1	6	4
三重	11	4	32	7	5	3	2	1
滋賀	15	5	11	6	4	0	0	0
京都	11	4	18	4	5	2	1	1
大阪	52	24	71	21	13	6	3	11
兵庫	34	18	54	20	9	2	1	3
奈良	10	4	22	5	1	1	1	1
和歌山	4	2	5	2	1	1	1	1
鳥取	6	3	5	3	3	0	0	0
島根	6	2	7	3	1	1	0	0
岡山	15	7	19	6	5	1	1	2
広島	14	7	23	7	2	2	1	1
山口	8	4	10	4	3	0	0	1
徳島	6	2	6	3	1	0	0	2
香川	9	4	10	4	3	2	2	3
愛媛	9	3	11	3	1	2	1	1
高知	2	3	5	2	2	0	0	0
福岡	16	10	24	8	3	4	3	4
佐賀	4	2	9	3	2	2	0	0
長崎	3	2	5	2	2	0	0	0
熊本	4	1	8	2	1	1	1	2
大分	2	1	3	1	1	0	0	0
宮崎	10	3	6	5	1	0	1	0
鹿児島	8	2	7	2	1	0	0	2
沖縄	2	1	4	1	1	0	0	0
合計	616	311	949	314	168	89	51	74